

Digest of Science of Labour

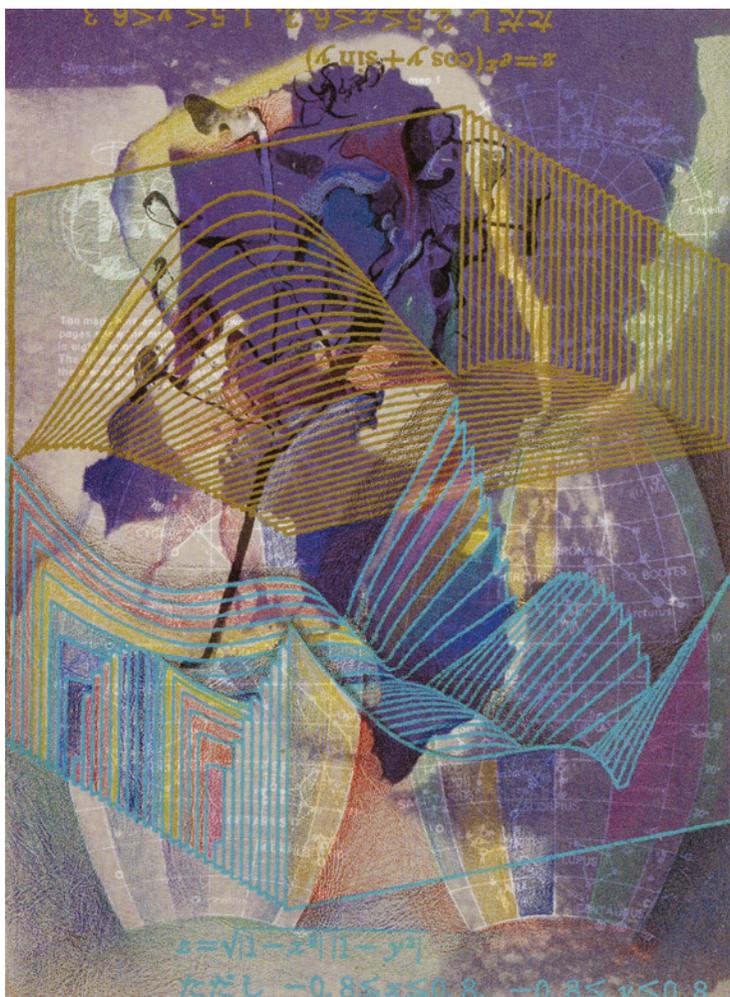
労働の科学



2021

May

Vol. 76, No. 5



特集

産業博物館を訪ねて モノたちの語らいに耳をすまそう!

炭鉱の街で石炭の歴史に学ぶ / 大牟田市石炭産業科学館
「食」情報の収集と発信を通じ新たな「食文化」の創造を目指す / 味の素食の文化センター
活版文化の遺産を守り活字のぬくもりを今に伝える / アジア活版資料館
モノづくりにかけた情熱を次世代へ語り継ぐ / トヨタ産業技術記念館

巻頭言

働く者の希望の実現に向けて
さらなる一歩を

鬼木 誠

連載

ILOインド・南アジアこぼればなし②

川上 剛

新連載 チャレンジ!SDGs①

泉 貴嗣

AIの経済学

鶴光太郎 著 「予測機能」をどう使いこなすか
AIは我々の仕事を奪うのか？それとも頼もしい味方なのか？AIが経済社会に与える影響と可能性を身近な事例で平易に解説。

●1870円(税込)



入門 財政学 [第2版]

土居文朗 著

財政について、経済学の視点から考えていく力が身につく入門書。日本の財政の制度的な側面がしっかりと学べる。

●3080円(税込)



国際協力と想像力

松本悟・佐藤仁 著 「イメージ」と「現場」のせめぎ合い

援助の現場において「イメージ」と現実はなぜ乖離するのか。援助国・被援助国の視点から要因を考察し、ギャップを超える方法を探る。

●2200円(税込)



香港

国家安全維持法のインパクト
一國二制度における自由・民主主義・経済活動はどう変わるか

廣江倫子・阿古智子 編
逃亡犯条例改正案から国家安全維持法の制定へ、大きな岐路に立たされている香港。一國二制度の今後と、法制度と社会への影響を読み解く。

●2200円(税込)



ソーシャル・キャピタルからみた人間関係

稲葉陽二 編著 社会関係資本の光と影 生存科学叢書

日々の組織運営や社会活動で生じる問題を解く鍵として期待の社会関係資本には正負の面がある。実話や身近な例でわかりやすく解説。

●2860円(税込)



経済セミナー

2021 4・5月号

経済学でデータを活かす

□ 鼎談「データ×経済学」の可能性
……宮川大介×久慈未穂×柳岡優希
□ 「新連載 実証ビジネス・エコノミクス vol.1
実証ビジネス・エコノミクスとは
……上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎



●1518円(税込)



日本評論社

https://www.nipponyo.co.jp/

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4

ご注文は日本評論社サービスセンターへ

TEL: 03-3987-8621

TEL: 049-274-1780

FAX: 03-3987-8590

FAX: 049-274-1788

大原社会問題研究所雑誌

753号

2021年7月号

定価1,018円(本体926円+税10%) 年間購読12,000円(税込)

【特集】「自立支援」の現在(1)

特集にあたって

若者を食べ吐きする「若者自立支援政策」

学習支援を通じた子どもの「自立」支援がもたらす管理の全面化

生活保護における自立支援と統治

堅田香緒里

岡部 茜

阿比留久美

桜井啓太

■研究ノート

野党共闘への道——連合政権と選挙協力をめぐる日本共産党の模索

中北浩爾

■書評と紹介

下夷美幸著『日本の家族と戸籍』

堀江有里

田中智子著『知的障害者家族の貧困』

土屋 葉

社会・労働関係文献月録/月例研究会 清水善仁/所報 2021年3月

発行/法政大学大原社会問題研究所 〒194-0298 東京都町田市相原町4-342 Tel 042-783-2305

http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/

発売所/法政大学出版局 〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1 Tel 03-5214-5540



コロナ対策を通して新たな職場環境を構築

仲尾 豊樹



▶診療所入口（陰圧室が対面にある）



▶改善を経た陰圧室（20年春）



▶陰圧室の設置（20年春）

▲診療所入口付近5箇所に設置された発熱した患者様へのお願い

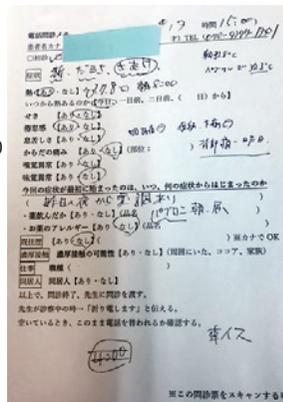


▶発熱診療保護衣（20年春）



▶発熱診療保護衣（21年春）

▶発熱予審表（20年春）



▶発熱入力フォーム（21年春）



▶イヤホンマイクインカムを装着する看護師



▲発熱セットは常時4組準備する

▶生ゴミでたい肥を作り、資源を再利用してグリーン化を進める



▲診療所、針灸院職員一同

ひらの亀戸ひまわり診療所は、東京江東区にある職員10名の、じん肺アスベストの患者さんを多く受け入れている診療所で、鍼灸院もあります。2020年春、新型コロナ患者が受診するようになって、診療所改善を精力的に取り組みました。週一回の定例会議と毎日の診療前ミーティングなどで、アイデアが生まれたら全員で検討し実行します。

診療所は共同ビルの2階にあり、エレベーターは共有です。発熱患者はエレベーターを利用せず、非常階段を使うよう誘導します。2020年5月から数回の改善を経て、エレベーターホールに予約制の陰圧室を完成させ、診察から投薬会計まで出来るようにしました。これで発

熱患者と一般患者の動線が、完全に分離しました。

発熱予審票は当初手書きでしたが、申込フォームをHPに作り、本人が入力するようにしました。発熱診察キットは4セット準備し、職員がインカムを携帯したので、診療時間短縮が出来ました。保護衣も去年は重装備でしたが、最近は安全でかつ動きやすいものに変えています。資源の再利用にも熱心で、お茶かす食べ物の残りを無駄にせず、たい肥を作り、緑化も進めています。

新型コロナ対策を通して、新たな診療所作りを全員で進める活動は、SDGsの目標にも合致するものです。

なかお とよき

特定非営利活動法人 東京労働安全衛生センター

KOKEN

FFリップ

フィット性能で選ぶなら。

興研オリジナル

フィットを向上させる3次元構造のFFリップ

サカ中式

ハイテックシリーズ

顔のカーブに合わせたしなやかなFFリップは、
密着性が高く、顔の動きに追随しやすい設計のため、
顔に自然になじんで「ぴったりフィット」を実現します。

クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

 **興研株式会社**

働く者の希望の実現に向けてさらなる一歩を

鬼木 誠

労働科学研究所の創立100周年を心よりお祝いたします。

幾多の困難を乗り越え、100年の長きにわたって精力的な活動を展開することを可能としたのは、揺るぎない「創立の志」と衰えることのない「情熱」ではなかったかと思えます。

現場を起点に、働く者の安全・衛生・健康を科学するという研究所としての一貫した姿勢に基づく数多くの成果は、労働者の意欲と活力を生み、様々な産業の発展に寄与してきました。とりわけ、労働の現場において「人を中心に置く」とこの重要性が広く認識されることになったことの意義は、極めて大きいと考えています。

私たち、自治労の組合員の多くは、公務・公共サービスに従事しています。昨年来の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、公共サービスの現場は極めて厳しい職場状況となりました。医療現場や保健所のひび迫した状況は報道等により広く知られることとなりましたが、それらの職場だけでなく、保育所や介護施設、清掃や調理の現場、そして役所の窓口など、多くの職場で1年以上、感染症と必死になつて向き合い、懸命に住民の命と健康、生活を守るための奮闘が続いています。しかし、限られた人員での業務運営には限界もあり、全国的な感染症の蔓延というかつてない事態の進行は、今日

の公共サービスの脆弱性を浮き彫りにしました。共有させていたいただきたいのは、今まで万全であった公共サービス、そしてそれを支える体制が、新型コロナウイルスにより浸食され毀損されたのではなく、この間の新自由主義的な政策の推進により、すでに公共サービスはギリギリの状態に追い込まれていたということです。その事実・実態が感染症の蔓延という事態の中で、浮き彫りにされ、明らかになったと捉えています。

ギリギリの状態にあった公共サービスをこれまで支えてきたのは、「職員の献身性」に他なりません。自治体をはじめ、多くの公共サービスの現場において、首長や使用者のリーダーシップに基づく危機管理対応は、有効に機能しませんでした。打ち出された感染症への対応策の多くは、増員による体制の拡充がなされないうまま、現行体制下における職員のさらなる奮闘に依拠したものでしかありませんでした。職員の献身性がさらになければ成り立たない、職員に過度な精神的、肉体的な犠牲を強いることでは「公共サービス」の提供ができません。それが、今日の現場実態であり、それは、健全な公共サービスの姿とは程遠いものだと言わざるを得ません。最も問題なのは、首長や使用者に、公共サービスの提供が労働であるということの認識、そしてその労働の主体としての「人」への視点が欠落していることです。人はモノでも機械



おにきまこと
全日本自治団体労働組合 書記長
大原記念労働科学研究所 評議員

でもないという、極めて当たり前のことが公共サービスの現場では看過され続けている。真に感染症が明らかにしたのは、この事実だと思います。

公共サービスの現場だけでなく、このような労働の現場はまだ数多くあるのかもしれません。だからこそ、どのような時代になつても、労働科学研究所が貫かれてきた、「労働の現場において『人を中心に置く』ことの重要性」という課題認識は、現在進行する問題と向き合ううえで、極めて重要な指標となると考えています。

周年を寿ぐ目的の一つは、来し方を振り返り、立ち位置を確認し、次への目標を定めることにあると思います。

労働科学研究所の100年にわたる歴史の振り返りが、次の100年に向けての展望を明らかにし、すべての働く者の希望の実現に向けた新たな力強い一歩となりますことを心よりご祈念いたします。



俯瞰 ぶんかん

労働の科学

2021
May
Vol. 76, No. 5

巻頭言

俯瞰 (ふかん)

創立百年——これからの労研の役割とあり方⑤

働く者の希望の実現に向けてさらなる一步を

1

鬼木 誠 [全日本自治団体労働組合 書記長]



表紙作品：山本美智代

「宇宙ステーション」

版画・シルクスクリーン (49×35.5cm)

表紙デザイン：大西文子



産業博物館を訪ねて— モノたちの語らいに耳をすまそう!

炭鉱の街で石炭の歴史に学ぶ

..... [大牟田市石炭産業科学館] 坂井 義哉 4

「食」情報の収集と発信を通じ新たな「食文化」の創造を目指す

..... [公益財団法人味の素の文化センター] 草野 美保 10

活版文化の遺産を守り活字のぬくもりを今に伝える

..... アジア活版資料館 15

モノづくりにかけた情熱を次世代へ語り継ぐ

..... トヨタ産業技術記念館 20

Graphic

広がる参加型職場環境改善 5 [見る・活動](124)

..... 仲尾 豊樹 口絵

Series

ILOインド・南アジア こぼればなし(2) ネパールの家内労働職場から	川上 剛	28
チャレンジ!SDGs(1) SDGsによる社会の変化を直視する	泉 貴嗣	34
「#教師のバトン」で伝わる(2) 教職員の過酷な勤務環境	藤川 伸治	38
地下水づくり 大原孫三郎と清水安三(3)	兼田 麗子	42
漂流者たち クミジヨの肖像(3) クミジヨ研究はなぜ存在しないのか(2).....	本田 一成	46
凡夫の安全衛生記(52) 「同じ立場の人たち」業界活動を通して知る	福成 雄三	48

Column

Talk to Talk 改めるに	肝付 邦憲	50
演劇が描く「働く人々」 『蠟燭の灯, 太陽の光』 炭鉱の街に生きる労働者の物語	編集部	54
BOOKS 『幸せな職場の経営学～「働きたくてたまらないチーム」の作り方～』 幸せの4つ因子の実践!	椎名 和仁	56
労働科学のページ		57
次号予定・編集雑記		64

炭鉱の街で石炭の歴史に学ぶ

坂井 義哉

はじめに

大牟田市は、福岡県の南端に位置し、北はみやま市、南は熊本県荒尾市と接している。三池炭鉱ではこの3市と、またその西、干潟で有名な有明海の海底下に石炭層が広がっている。大牟田市石炭産業科学館は、市の西側、有明海を臨む「ボタ（採炭時に生じる捨石）」の埋立てによってできた造成地に建っている

三池炭鉱の概要

大牟田市は三池炭鉱とともに発展してきたまちである。三池炭鉱は1997（平成9）年3月に閉山したが、国内では最大の規模を誇る炭鉱であった。石炭層は北東から南西方向に約6度の傾斜で深くなり、数層の採掘可能な炭層があるが、最厚の「三池本層」は5mにも及ぶ。加えて、ボタの割合が1割程度と少

なく、採炭条件に恵まれた炭鉱であった。

三池における石炭の歴史は古く、1469（文明元）年、地元の農夫が山中で焚き火をしていたとき、石が燃え出したという、日本最古の石炭に関する記録が残っている。

江戸時代には、露頭部分から採炭が始まり、時代が下るにつれ坑道掘りに移り、深部採炭が進んだ。明治になると三池炭鉱は官有となり、政府の手で炭鉱の経営が行われた。海外からの技術導入も積極的に行われ、1888（明治21）年開坑の宮浦坑には高さ31.2mの煉瓦造の煙突がそびえ、宮浦石炭記念公園の中に今もその高さを誇っている（国登録有形文化財）（写真1）。



さかい よしや
大牟田市石炭産業科学館 館長



写真1 宮浦坑煙突

三池炭鉱の特徴の一つとして大量の坑内水の発生が挙げられる。出炭1トン当たり10から12トンの出水があったと言われ、官営期の1885年に開削が始まった勝立坑は、異常出水によって水没してしまい、三池炭鉱そのものの経営も危ぶまれた。その折、三池炭鉱の技術者として働いていた團琢磨は、イギリスから当時世界最大の揚水能力を誇ったデービーポンプを輸入、坑内水の処理に目途をつけ、三池炭鉱の発展の礎となった。

1889年に、三池炭鉱は当時の三井組に払い下げられ、以後「三井三池炭鉱」として発展していく。払下げ後、最初に開削された宮原坑は、第一堅坑が1898年、第二堅坑は1901年に完成、出炭を開始している。

宮原坑の特徴に囚人労働が挙げられる。安定した労働力を確保するため、三池炭鉱における囚人労働は、官営期当初から行われてきた。当初は九州各県によって設置された監獄から各坑口に出役していたが、1883年、三池集治監が国により設置され、宮原坑ではその囚人を集約、採炭労働に従事させた。宮原坑は1931（昭和6）年、囚人労働の廃止と期を同じくして閉坑したが、第二堅坑櫓が現存する（写真2）。

また、同時期の万田坑は、宮原坑の南約1.3km、県境をまたぐ位置に計画され、1902年に開坑、斯界のモデルマインとしてその威容を誇った。1948年に閉坑、第二堅

坑施設他が荒尾市に残り、宮原坑とともに1998年に国指定重要文化財に、2000年には国の史跡となっている。

三池炭鉱では、石炭運搬の効率化のため専用鉄道を敷設。1891年、七浦―大牟田川河口間の開通を皮切りに順次延長、1905年には市内を馬蹄形に囲む全線が開通する。

炭鉱閉山後大部分の線路は撤去され、一部、化学工場と鹿児島本線の区間のみ、原材料の輸送に使用されていたが、2020年運行を停止した。鉄道敷の大部分は当時の形状を残しており、宮原坑と万田坑、そして三池港をつなぐ部分は、2013年「三井三池炭鉱跡」の指定範囲拡大により史跡となった。

石炭船積みの効率化のために築かれた三池港は、今のお金に換算して400億円ともいわれる巨費を投じ建設され、現在も重要港湾として稼働している。干満の差が著しい有明海に面した同港は、沖に伸びる2本の堤防を築き、その間を浚渫^{しゅんせつ}、一定の水深を確保し、あわせて開閉式の鋼鉄扉^{こうてつひ}（閘門）を設けて、岸壁の水位が干潮時でも一定に保てるようになっている（写真3）。

宮原坑・万田坑、炭鉱専用鉄道敷、三池港を含む三池炭鉱関連施設は、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産となっている。

大正から昭和にかけては、石炭を礎とした火力発電所やコークス工場・化学工場が建て



写真2 宮原坑第二堅坑櫓



写真3 三池港

られ、石炭化学コンビナートが形成されていく。また、陸部の採炭がほぼ終わり、海底採炭に移行する。三川坑は本格的な海底採炭を進めるため造られた三池炭鉱最大の坑口であった。1937年に着工し、1940年から出炭開始。戦時中の労働力不足を補うため、連合国の捕虜や大陸からの徴用労働者が従事した坑口でもある。戦後はエネルギー供給源として復興に大きな役割を担ったが、「石炭から石油へ」というエネルギー革命の中で、戦後最大の労働争議「三池争議」や、これまた戦後最大の労働災害事故「三川坑炭じん爆発」の舞台となったところでもある（写真4）。

閉山に臨んで～石炭産業科学館の誕生

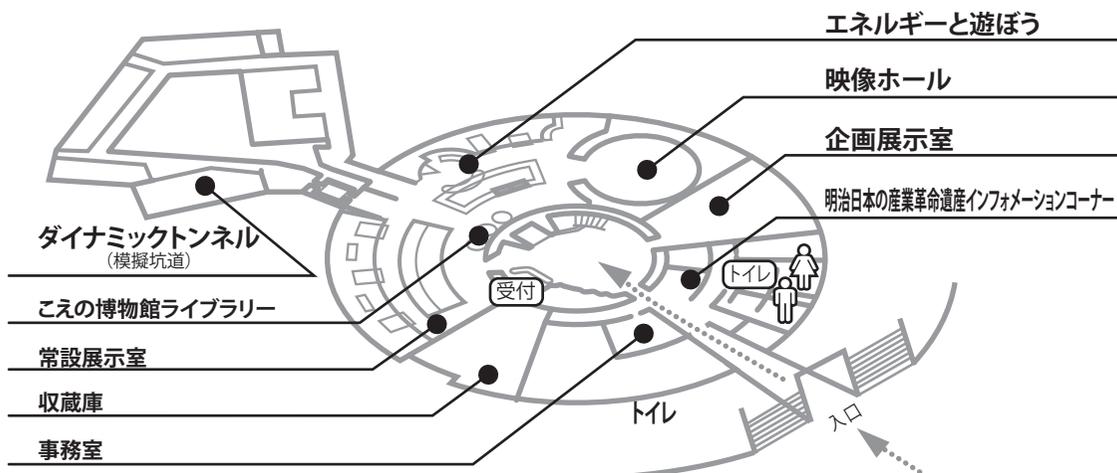
日本の近代化や戦中戦後をエネルギー面で支えた三池炭鉱であったが「生産規模の縮小」また「構造調整の最終段階」を打ち出した第8次及びポスト8次石炭政策のなかで、閉山を見越してさまざまな「あらかじめ対策」が進められた。そのなかで石炭を展示テーマにした「石炭館」が意図され、1987年大牟田市議会で「石炭館建設」の請願が全会一致で可決、建設が動き出すことになる。1994年着工、翌年7月に隣接する第三セクター「ネイブルランド」とともにオープンした。



写真4 三川坑第二坑



▲石炭産業科学館外観



▲石炭産業科学館平面図

石炭産業科学館の設置目的には「……地域文化の向上に寄与するとともに、地域の振興をはかる……」とあり、まちづくりを志向する施設でもある。また「ネイブルランド」は閉山後の新たな産業として観光振興を目論んで造られたアミューズメント施設であり、石炭産業科学館はその支援施設の位置づけも担っていた。

多彩な展示内容

石炭産業科学館のテーマは「石炭を学ぶ」「三池炭鉱を知る」ことであり、テーマに沿った展示を行っている。入館し、中央の円形ホールには巨大な石炭層が受付の上に現れる。実物の石炭層から型を取り起こしたものである（写真5）。

常設展示室に入ると、蒸気機関車はじめ石炭が使われていたものを展示し、石炭を身近

に感じてもらうコーナー、その左手に三池炭鉱の官営期までの歴史を紹介するパネルが並び（写真6）。その奥には映像と模型で、團琢磨や三池港、石炭化学コンビナート、閉山前の坑内の採炭を紹介するブースを設置している。また、明治期と昭和期の坑内の様子を模型で復元している（写真7）。

常設展示室から「ケージ」に乗ると、坑内を紹介する「ダイナミックトンネル」へと向かう。ここでは坑内で使われていた採炭・掘進機械を展示、動いている様子を見学することができる（写真8）。

常設展示室に戻ると、エネルギー体験コーナーへ。磁力で鉄球を動かしたり、空気圧でボールを飛ばしたり、子どもたちに人気のコーナーである（写真9）。

一番奥の映像ホールでは、石炭の成り立ちや、三池炭鉱関連の近代化遺産を紹介する映像を順次上映している。



写真5 受付風景



写真6 官営期までの歴史



写真7 常設展示室



写真8 ダイナミックトンネル



写真9 子どもたちに人気の体験コーナー



写真10 こえの博物館ライブラリー

閉山後のまちづくり

新たなまちづくりの出発点と期待されたネイブルランドは、わずか3年で閉園。広大な埋立て地に、石炭産業科学館のみが残された。今でこそ館の周囲にショッピングセンターや大学が立ち並び人もあるが、当時の担当者は「周囲に明かりもなく、残業して帰るときは本当に怖かった」と話していた。大牟田市の財政状況も逼迫、公共施設の見直し（廃止）が進められ、石炭産業科学館も俎上に上がり、将来を見据えて、運営を財団から（閉館し易いように）直営に変更された。炭鉱にまつわるものは「負の遺産」で忘れさるべきもの、という雰囲気もあった。

そのような中、当時の石炭産業科学館の担当者は、三池炭鉱にかかわるさまざまな人たちの記憶を、映像で残そうと2001年から取り組みを始めた。「こえの博物館事業」と呼ぶこの事業では、72人110時間に及ぶ撮影の中で、戦前戦中戦後の記憶や、三池争議の当事者（第1組合、第2組合、会社、主婦会など）、三川坑炭じん爆発では、被災者はじめ裁判や治療の関係者など、多くの人たちへのインタビューを行うことができた。携わられた監督の熊谷博子氏や当時の担当者の働きに驚くばかりである。これらは2003年、「炭都シンフォニー」4部作として一応の完成を見た。し

かし未公開の膨大なインタビュー映像が残っていた。大牟田市では市制100年記念事業の一環として、これら未公開映像と追加撮影を加え、熊谷氏の協力も得てジャンル別に編集、「こえの博物館ライブラリー」として、館内で公開している（写真10）。

閉山後、三池炭鉱関連の近代化遺産の保存の取り組みは前述のように一定文化財指定まではこぎつけたが、その後は財政悪化に伴い動き出せずにいた。が、国が世界遺産候補の公募を始めたことにより動き出す。2006年から、三池炭鉱含む「九州山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録を、関係自治体とともに目指すことになり、自分はその大牟田市の担当となった。もともと市の文化財担当として三池炭鉱の保存に携わっていたが、炭鉱施設の保護もさることながら、「負の遺産」とも称された、その価値を如何に市民に伝えるか、に大きく意を割いたところである。

おわりに

紆余曲折を経て2015年7月「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」は、世界文化遺産に登録された。石炭産業科学館は「明治日本の産業革命遺産」三池エリアのガイダンス施設に位置づけられていた。世界遺産登録後、当館に異動した自分が「明治日本の産業革命」世界遺産ガイダンス施設



写真11 世界遺産インフォメーションコーナー

整備の担当となった。そして、2021年2月、世界遺産インフォメーションコーナーオープンを迎えることができた(写真11)。

準備のなかでは世界遺産価値の紹介もさることながら、日本の近代化を支えた三池炭鉱があるまち大牟田、そこに住む人たちの自信

と誇りにつながるような展示を心がけたつもりである。

当館は単に石炭のこと、三池炭鉱のことを知っておしまいでなく、副題のとおり「炭鉱の街で石炭の歴史に学ぶ」ことからスタートし、そこからまちづくりにつなげてきた20余年であったと思う。地方の科学系博物館類似施設ではあるが、地域にこだわった施設として今後も活動を進めていければと考えている。

大牟田市石炭産業科学館

〒836-0037 福岡県大牟田市岬町 6-23

電話 0944-53-2377

URL : <http://www.sekitan-omuta.jp/>

**メンタルヘルス不調を予防する新しいアプローチ
確かめられた有効性。その具体的なすすめ方をわかりやすく紹介**

**メンタルヘルスに役立つ
職場ドック**

吉川 徹・小木和孝 編

全頁カラー

- 1 メンタルヘルスに役立つ職場ドック
 - 2 職場ドックが生まれた背景
 - 3 職場ドックのすすめ方、計画から実施まで
 - 4 職場ドックがとりあげる領域
 - 5 職場ドックで利用されるツールとその使い方
 - 6 職場ドックに利用する良好実践事例
 - 7 職場ドックチェックシート各領域の解説
 - 8 職場ドックをひろめるために
- 付録 職場ドックに用いるツール例
コラム 職場ドック事業の取り組み事例

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷1-1-12
桜美林大学内3F
TEL : 03-6447-1435
FAX : 03-6447-1436
HP : <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所



好評 第4刷

体裁 A 4判並製 70頁
定価 1,320円(税込み)
図書コード ISBN 978-4-89760-330-8 C 3047

「食」情報の収集と発信を通じ新たな「食文化」の創造を目指す

草野 美保

はじめに

味の素食の文化センターは、1989年4月に財団法人として設立され、2013年からは公益財団法人として、食文化に関する研究支援と普及・啓発に取り組んでいます。設立のきっかけは味の素株式会社の創業70周年記念事業ですが、現在は公益財団法人として味の素社とは独立した運営が行われています。

約30年前の設立当時は、「食文化」という言葉は今ほど一般的ではありませんでしたが、「『食』情報の収集・公開並びに研究助成を通じて食文化分野の発展を目指します」という理念のもと、食文化研究者や食文化に関心がある方々に向け多岐にわたる事業（専門図書館や展示室の運営、シンポジウムの開催、出版事業、若手研究者育成のための研究助成など）を展開しています。「食文化」の創造を目標に置く食文化センターの活動の一端をご報告します。



くさのみほ
公益財団法人味の素食の文化センター
食の文化ライブラリー副館長

専門図書館「食の文化ライブラリー」

1992年に専門図書館「食の文化ライブラリー」が京橋にオープンし、2004年に現在の高輪に移転しました。「食の文化ライブラリー」は、食分野に特化した専門図書館です。江戸時代の料理書、明治から昭和30年代の書籍・雑誌などの古い図書から新刊本まで40,000冊以上を所蔵しています（写真1）。

味の素グループ高輪研修センターに到着したら、まず、1階ロビー受付で記帳し入館証を交付してもらってください。あらかじめ来館の予約をする必要はありません。

書架の配列は日本十進分類法ではなく、当館独自の分類です。まずは13の大カテゴリ（例えば「F 外食産業・食品製造業」）で見るところを決め、そこに行くと、中カテゴリ（F1 外



写真1 食の専門図書館

食産業・食品製造業、F2 大量調理、F3 飲食情報)で分かれ、総記的な本、日本(47都道府県別)、アジア、欧米、という順に並んでいます。

1日の入館者は決して多くはないですが、研究者や学生をはじめ食品会社でメニュー開発を担当している人や、レストランのシェフ、テレビ関係者、出版関係の編集者やライター、あるいは料理愛好家など幅広い方々が来館されます。著名な作家の方も資料調べに来館されることがありますし、近隣の小学生や中学生の班別学習、また、修学旅行の高校生が自由行動の一環として、さらに、大学ゼミなどでも利用されています。食関係の企業の社史も充実しており、企業研究に来られる方もいます。

蔵書は専門家が参考にする学術書をはじめ、プロ向けの料理本、日々の食事の参考にするレシピ本、作家のエッセイ本、小学校の調べ物学習まで、多様なジャンルの本が揃っています。また、当館では明治から昭和30年ごろまでの本や雑誌も所蔵しており、貸し出しはできませんが図書館カウンターで申し込み頂ければ現物の閲覧が可能です。大正2年創刊の主婦向けの料理雑誌である『料理の友』など、希少な資料もご覧頂けます(写真2)。来館者の中には一日中、閲覧に没頭される方もいますし、「ここに住みたいです」などとおっしゃる方もいるほどです。

カウンターは毎日2人体制で対応していますが、業務には魅力的なのに新刊本に埋もれ

てしまいがちな古い本を紹介する「発掘本コーナー」や分類を横断したテーマ別の紹介コーナーの制作もあり、全員がアンテナを広げて日々学習しています。また、お米関係の本が並ぶ棚には「世界のお米」の現物サンプルも陳列するなど、来館される方に少しでも楽しんで頂けるように工夫を凝らしています。一口に「食」といってもその内容はさまざま、食材単体に絞った研究もあれば文化的な広い視点での研究もあります。時代や地域の食について書かれた本、レシピ本、エッセイやグルメガイド、統計資料など、幅広く収集するようにしています。

常設展示のギャラリーで時空を超える

「食のライブラリー」の高輪移転に伴い、2階には食文化展示室も設け、当館所蔵の資料を活用して常設展(写真3)・企画展(不定期)を実施しています。

常設展示では四季折々の日本の食文化を紹介しており、春・夏は江戸時代の食の場面を描いた錦絵パネルや料理書を展示しています。まず春は「春の訪れを楽しむ食文化」と題して、潮干狩りやお花見の錦絵を飾っています。私たちが今、春のお花見や1年を通じての観劇などで、花やお芝居はもちろんながら、みんなで囲むお弁当が何よりの楽しみであるように江戸後期の庶民にも同じ楽しみがあったようです。花見弁当(写真4)は『料



写真2 明治から昭和30年代の貴重な雑誌



写真3 楽しみながら歴史が学べる展示室

理早指南』(享和元年/1901)の記述から再現したもの。江戸時代の人たちが豪華なお花見弁当を広げて楽しんでいる様子を思い浮かべてみてください。春の隣は夏の風物詩初鰹や、珍しいところでは土用干しをしながらスイカを食べて涼をとる女性たちの錦絵がパネルになっています(写真5)。題して「暑さをしのぐ食文化」で、錦絵からは高温多湿の日本の夏を乗り切る知恵と工夫がしのべられます。夏のコーナーのレプリカは鰹の蒲焼(写真6)です。よく見ると割いてありません。初期の蒲焼きは割かずにぶつ切りにして串に刺したもので、ガマの穂に似ているから蒲焼き(がまやき)と言われるようになったという説があります。

秋・冬は近現代の資料を使っています。秋は「実りをいただく秋の食文化」というタイトルで、秋の花鳥風月を織り込んだ料理や和菓子を紹介しています。最後は冬、「越して迎える冬文化」ということで近代以降、クリスマスを楽しむ家庭の料理も紹介しています。

昭和4年(1929)の子どものクリスマス会の料理は職員が再現し、レプリカにしています。また、四季の移ろいに加えて「料理書からみる、日本の食文化」というコーナーもあり、木版による製版印刷で広まっていった料理書を時代を追って紹介しています。『会席即席御料理番付』(元治2年/1865)には今でもその名が残る「八百善(やおぜん)」の名前をみることができます(写真7)

入り口に展示されている江戸の握りずしのレプリカ(写真8)は、当時のすしの大きさに驚かされ、このケースの前では必ず人の足が止まります。

東京家政学院大学の江原絢子名誉教授に監



写真4 江戸時代の花見弁当(レプリカ)



写真5 十二月之内水無月土用干し(歌川豊国・安政元年)



写真6 うなぎの蒲(がま)焼き(レプリカ)

修のご協力を頂きましたが、先生は監修の言葉の中で「江戸時代、災害の多い厳しい暮らしの中で生産・加工技術を発達させ、楽しみ

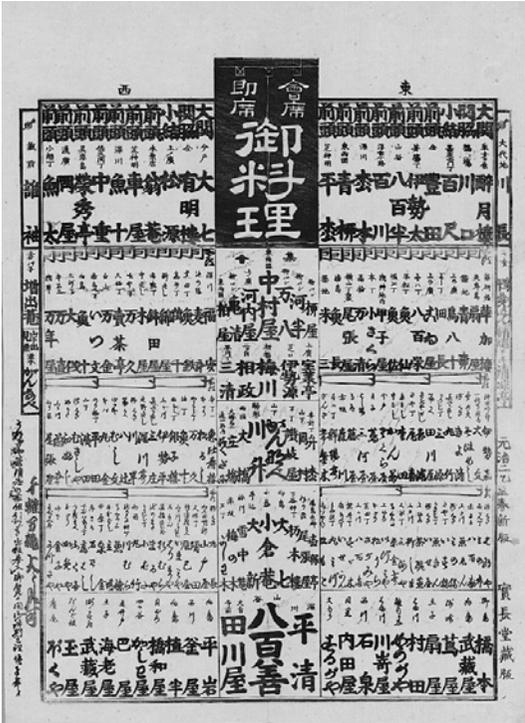


写真7 会席即席御料理番付 (1865年)



写真8 江戸の握りずし (レプリカ)

を見出してきた人びとの知恵と技術はその後も引き継がれています。明治以降、それまでの食に加え、西洋文化を取り入れた新しい食べ物が工夫され、カレー、すきやき、とんかつなどが定着しました。また、栄養学や衛生学を導入し、家庭の日常食への工夫を雑誌や料理書などを通して啓発し、明治後期以降の都市部の家庭を中心に新しい食べ物や調理法が浸透していきます。長い歴史の中で変化を

繰り返しながらより良い食を育んできた人びとの思いの一端を汲み取り、未来へつなぐお一人になっていただければ幸いです」と来館の皆さんに呼びかけられています。

展示室も予約なしで、どなたでも無料でご覧いただけますので、お気軽にお立ち寄りください。

食の文化の開拓者として 多彩な事業を展開

1) 食の文化フォーラム運営

財団設立に先立つ1982年に開かれた第1回食の文化フォーラム以来、毎年開催しています。これは、社会・人文・自然科学など20以上の領域の研究者やジャーナリストが、食文化を学際的に考える会員制の研究討論会で、年3回行っています。その年ごとのテーマについて多角的な発表と討論が行われ、その成果は毎年『食の文化フォーラム』シリーズとして刊行を重ね、2019年で37巻を数えました。来たる2022年に迎える食の文化フォーラム40周年を記念して全3巻の書籍「フォーラム人間の食」の出版を予定しており、2021年3月に第1巻となる『食の文明論—ホモ・サピエンス史から探る』を刊行しました。

2) 公開シンポジウム開催

幅広い方に食文化への理解を深めて頂くために、「食の文化フォーラム」の成果を踏まえたシンポジウム(年1回)と、外部団体との共催シンポジウムを適宜開催しています。2020年は11月に「食のサステナビリティ～未来につなぐ食のあり方を考える～」と題して、持続可能性に関する料理界の取り組みと海外の潮流を踏まえ、現代日本の食の問題点と食の未来について取り上げました。興味のある方はホームページからご視聴ください。

特集：産業博物館を訪ねて—モノたちの語らいに耳をすまそう！

3) 出版事業

財団では1989年から食文化誌『vesta』（写真9）を発行しています。7月現在で123号まで発刊しました。毎号一つのテーマを掘り下げる特集と多彩な連載記事から構成され、年4回発行しています。最新号の特集は、まさに今の状況を取り上げた「コロナと食文化」です。ウェブサイトではこれまで発行された『vesta』のいくつかの記事を公開しています。



写真9 食文化を楽しむ季刊誌「vesta」

4) 研究助成

食文化に関する学術研究を推進することを目的にスタートし、2016年からは食文化研究の発展をリードしようという意欲ある若手研究者を対象に助成しています。

おわりに

1979年の財団設立の準備期間から足かけ40余年が経過しました。当初は認知されてなかった「食文化」という考え方は私たちの生活に大きな位置を占めるようになりました。研究はさらに広がりを増しており、当財団も国内外の食文化研究者、団体等と連携を強めることにより、一層の社会貢献を目指したいと思えます。

最後に、展示室を監修された江原先生の「長い歴史の中で変化を繰り返しながらより良い食を育んできた人びとの思いの一端を汲み取り、未来へつなぐお一人になっていただければ幸いです」という言葉をもう一度掲げさせて頂き、自らの励みにしていきたいと思えます。食文化の宝庫へ気軽にお出かけください。

味の素食文化センター

〒108-0074

東京都港区高輪3-13-65

味の素グループ高輪研修センター内

TEL 03-5488-7318（事務所）

TEL 03-5488-7319（図書館・展示室）

FAX 03-3445-7965

都営地下鉄浅草線高輪台駅 A1 出口より徒歩4分

<https://www.syokubunka.or.jp/>

活版文化の遺産を守り活字のぬくもりを 今に伝える

アジア活版資料館

はじめに— 世界に羽ばたく思いを込めて

亜細亜印刷株式会社は1963（昭和38）年に、藤森義昭氏によって創業されました。社名に冠された「亜細亜」はおお客様の印象に残りやすいことと、アジアから世界へ羽ばたくという願いが込められています。1966年に現在の場所に移転、書籍をメインに業容を拡大してきました。長野県内はもとより関東や関西方面にも営業を開拓、現在は東京、京都、沖縄に拠点を広げています。

創立時は、鉛の活字を板に組み込んで印刷する「活版印刷」が最盛期を迎えていました。しかし、印刷業界にあってはデジタル化が急速に進み、同社も30年程前から作業のスピードアップを図るため、徐々にデジタル化に移行していきました。一世を風靡した活版印刷はいつの間にか姿を消していきましたが、日本が誇る活版文化を次の世代にもしっかりと伝えておきたいと、2004年6月、藤森義昭社長（当時）が会社敷地内に「アジア活版資料館」を開設、自らが館長を務めました。

資料館では、創業以来、工場で実際に使用した印刷機や鋳造機が展示されており、館内に一歩足を踏み入れた途端、昭和の香りが漂ってきました。実際に使われていた活字や印



写真1 大塚成二工場長（左）と伊東善慈総務部長

刷機が展示されているだけにインクの匂いもしっかりと残っています。

今回は、亜細亜印刷の大塚成二工場長と伊東善慈総務部長のお二人（写真1）が活版印刷の世界を案内してくださいました。活字のぬくもりをたっぷりご紹介します。

活版文化を知らない若い世代のために

「開館時間は朝9時から4時までで、入館無料です。先日も朝早く遠方から見学に来られた方がいました。今日のように工場長がご案内することもありますし、お一人で自由に見て回って頂くこともあります。私は当社へ来て年数が浅いので、今日は工場長の話をしっかり聞かせてもらいます」と伊東部長。

「東京には規模の大きい印刷博物館があり

ますが、うちは会社の敷地内にある55坪ほどの小さな資料館です。ただ、名前のおり活版に特化した資料館で、活版の歴史にふれて頂けます。2階には当社がかつて実際に取り組んできた文選や植字の作業場を再現しています。もちろん、今では文選や植字ができる職人は残っていません。私は活版印刷で組むことはできませんが、刷ることはできます」と、大塚工場長が樹脂板を使って会社の年賀状を作ったときの作品を披露してくれました。

活版印刷とは、活字と呼ばれる鉛でできた文字を組み合わせて作った版で印刷することを指します。文選、植字などを経て版全体を作り上げていきます。文字ごとに大きさの違う数千種以上の活字から適切なものを選択する必要があります。熟練の腕が必要とされます。パソコンによる情報処理技術が進む中で、消えつつある活版印刷の姿を残したいという創業者の熱い思いから資料館が誕生しました。

美しい手引印刷機

1階の中へ入って目に入るのが「手引印刷機」(写真2)です。パンフレットによれば手引印刷機は明治20年から30年にかけてドイツから数十台輸入されたそうで、その1台が資料館の入り口に鎮座しています。中野市の



写真2 手引印刷機

印刷会社から寄贈されたもので、半世紀前までは活版校正機用として実際に使用されていたようです。

ルネサンス期の三大発明として火薬、羅針盤とともに活版印刷術が挙げられていることはかつて授業で教わった記憶があります。

ドイツの金細工師ヨハネス・グーテンベルクが1450年頃、活字の開発と活版印刷術を発明したことでヨーロッパにおける文芸復興や宗教改革など近世社会の到来に大きく貢献しました。また、ワイン作りのブドウ搾り機にヒントを得て「グーテンベルグ印刷機」が誕生したことは有名な話ですが、その流れをくむ「手引印刷機」を実際に目にすると、先人たちの印刷文化にかけた情熱が500年以上の時空を飛び越えて伝わってきます。

活字の鑄造技術の歴史

「では、活版印刷の基礎的なことから見て頂きます。活版印刷では活字を作ることが重要になってきます。活字は一つひとつの文字について同じものを多数用意する必要があります。まず基礎となる活字を硬い金属で作りますが、これを父型と呼んでいます。その父型を銅の板に打ちつけたものが母型です。つまり、母型とは真鍮に左右反転した文字を彫ったものです。母型は活字鑄造の要ですから、強度と精密さが必要とされました。多くの書体と各種の大きさの母型を持っていることが印刷会社にとっては重要だったと言われています。それは、どれだけお客様のニーズに応えられるかということに直接結びついていたからでした。

活字は母型をセットされた活字鑄造機で一本ずつ鑄造されます。鑄造方法は、手で鑄込む手動活字鑄造機(写真3)と自動活字鑄造機を(写真4)使ったものがあり、手動活字鑄造機は明治から大正期にかけて使われたものです。鑄造機は母型をセットした鑄型に入



写真3 手動活字鑄造機

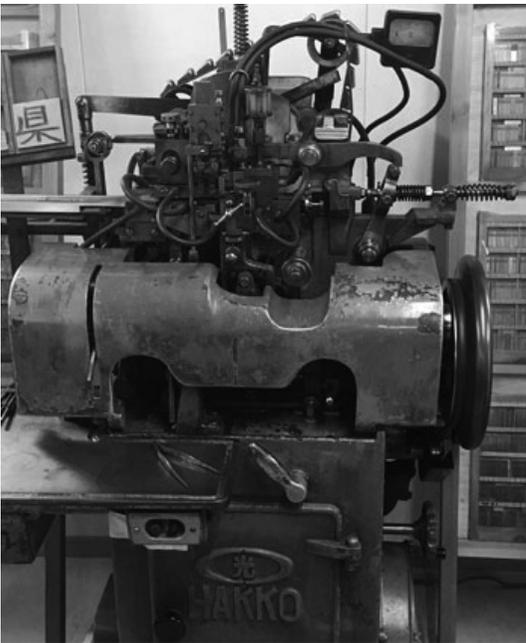


写真4 自動活字鑄造機

れて活字を鑄造します。鑄型を交換して、さまざまな文字の大きさ（一番小さなサイズで6級）の活字が鑄造できますが、鑄造された活字は上から見た時に字面がちょうど良い位置になくはなりませんから、とても精度の高い仕事が要求されました。職人の苦労は大変だったろうと思います」と、大塚工場長の丁



写真5 転（て）きん手動印刷機

寧な説明が続きます。

自動活字鑄造機の横には、はがきや名刺印刷に使われていた「転（て）きん手動印刷機（写真5）」が並んでいますが、これは広角印刷より寄贈されました。かつて活版印刷に携わってきた人たちの姿が目に浮かびます。

文選工と植字工の職人技

鑄造された活字は文選へと運ばれ、スダレケースという間仕切りのある箱に並べられます（写真6）。文選とは左手に文選箱と原稿を持ち、原稿を読みながら右手で活字を一本一本拾って文選箱に並べていくという作業です。文選工はスダレケースから原稿通りに活字を拾い集めていきますが、位置はほとんど体が覚えていたと言われていました。活字を拾っている間は、常に左手の親指は文選箱に並べられた活字側面にある溝をさわり、活字の向きが正しく並べられているかを確認したそうです。

「文選工と呼ばれた人たちは、鑄造された活字が並べられたケースから、原稿を持って活字を一本一本拾い文選箱に並べていくわけですが、熟練になると1日で1万字を拾ったそうで、その域に達するまでには5年も10年もかかったと聞いています。ルビ用の活字などは直径1ミリほどで、今から考えれば気の遠くなるような作業でした。ところで活字



写真6 フィルムが張られているのは中越地震のときに棚が倒れて活字が散乱したため

が並ぶケースがフィルムでおおわれていますが、なぜだかわかりますか」と大塚工場長。「ほこり除けですか」と聞くと「2004年12月23日の中越地震でケースがすべて床に倒れ、活字が散乱しました。翌日からアルバイトやOBにもお願いして片づけにかかりましたが、1ヵ月もあれば充分だろうという私の予想はみごとに外れました。3人がかりで毎日6時間近く作業し、すべて元に戻すまで何と1年かかりました。それを教訓にしてフィルムでおおい、さらにワイヤーでロックしています。おかげで東日本大震災のときは倒壊を免れました」と、当時を振り返ります。

文選工の作業が終わった段階での活字は、括弧等のない文字列に過ぎません。文選工によって拾われた何箱もの文字列は植字へと運

ばれます。

「文選工が拾った活字を原稿の通りに組んでいく作業を『植字』といい、この仕事に従事する人たちが植字工です。ステッキと呼ばれる植字作業用の金属製の道具を左手で持ち、インテルという行間に入れる詰め物などを入れながら文選箱から活字を拾い、組み上げていきます。ステッキがいっぱいになったら、『ゲラ』という箱に入れてページをつくっていきませんが、こちらも文選工に負けず劣らずの技が試されます(写真7、8)」と語る大塚工場長の言葉を受け「職人技とはまさにこういうことでしょう。私はまだこの資料館の説明に立ったことはありませんが、来館してくれたみなさんにかつての職人さんの仕事をしっかり伝えたいと思うようになりました



写真7 道具が並ぶ植字台

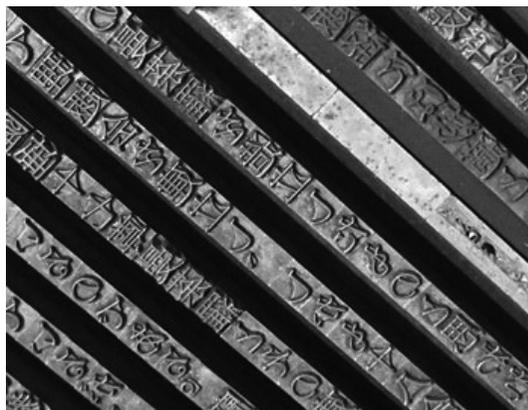


写真8 組まれた活字

た」と伊東部長は活版の世界に生きてきた先輩たちに敬意を表しました。

おわりに——印刷工程へ

「組まれた版は初版の印刷で使用しますが、保存のために紙型に複製・保存します（写真9）。重版のときには保存しておいた紙型により鉛版を作成、印刷の工程に進みます」と、1階中央で存在感を示している自動凸版印刷機（写真10）の前で大塚工場長は言葉を締めくくりました。この印刷機は同社がかつて使用していたもので、中村製作所より寄贈されました。給紙機が連結されており、脇には手差しのための踏み台もあって、スイッチを入れれば今でも作動できるよう整備済みとのことでした。

アジア活版資料館ではこのほか手づくり版木など文化財的なものも数多く展示されており、活版をこよなく愛する人たちなら、充実した時間を過ごせること間違いありません。遠方から訪ねてくる人がいること、時間をかけて館内を巡る人が多いことも納得できます。パンフレットの開館挨拶には「活版時代の本づくりの工程を保存することによって、往時を懐かしむだけにとどまらず、貴重な活版文化の遺産として、若いみなさんのために何かのご参考になればその使命を果たせるものと存じます」と書かれています。今でもすぐに作動できるという重厚な印刷機の前に立つと、アジア活版資料館は決して過去の遺産を懐かしむ場所ではなく、活版文化を次の時代に継承していくことを目指していることが



写真9 紙型



写真10 自動凸版印刷機

伝わってきました。

長野の名刹、善光寺とは車で10分ほどの距離にあります。ぜひ一度訪ねてみてください。

アジア活版資料館

開館時間：10：00～16：00

開館日：月曜日～金曜日

入館料：無料

〒380-0804

長野県長野市大字三輪荒屋1154番地

026-243-4859（事前に総務部へ要連絡）

モノづくりにかけた情熱を次世代へ語り継ぐ

トヨタ産業技術記念館

はじめに

名鉄名古屋駅からわずかひと駅揺られれば「栄生」^{さきこう}駅に到着，そこから徒歩3分ほどで「トヨタ産業技術記念館」の美しい赤レンガの前に立つことができます。(写真1)。栄生は名古屋が世界に誇る自動車メーカーである「トヨタグループ」発祥の地で，現在の豊田自動織機も，トヨタ自動車も，ここから誕生しました。かつて栄生には豊田佐吉が自動織機の研究・開発のために作った試験工場がありました。もう1世紀以上も前のことです。1926年に株式会社豊田自動織機製作所の設立総会が開かれ，11年後の1937年にはトヨタ自動車工業株式会社の設立総会が開かれました。モノづくりの聖地として選ばれたこの

地で，1994年（平成6）年6月11日にトヨタ産業技術記念館は開館しました。おりしもトヨタ自動車創業者である豊田喜一郎の生誕100年に当たる，まさにその日でした。運営はトヨタグループ17社が組合員となって出資する任意組合，トヨタ産業技術記念館運営組合です。モノづくりの楽しさあふれる参加型のおもしろ博物館をトヨタ産業技術記念館広報グループのグループマネージャー榎原研一さんと総務グループプロジェクトマネージャーである川込孝人さんにご案内頂きました（写真2）。

心を込めてお客さまを迎える

取材の窓口を引き受けてくださった川込さんの「できれば丸一日空けてほしいところで



写真1 トヨタ産業技術記念館

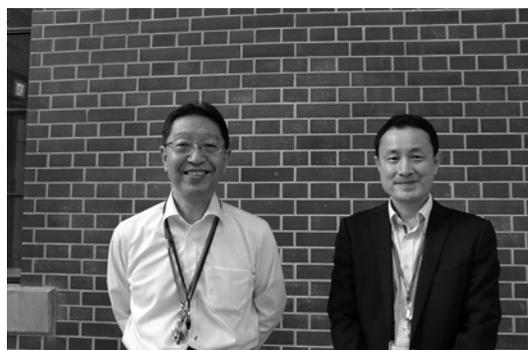


写真2 榎原研一広報グループマネージャー（左）と川込孝人プロジェクトマネージャー

すが、それが無理でもせめて午前中いっぱいはお付き合いください」という声を電話口で聞いたときは、正直言って半信半疑でした。ところが、実際に記念館に一步足を踏み入れた時、川込さんの言葉を素直に聞くべきだったとすぐに反省しました。広さを例えるのに、東京ドームの名が出されることがよくありますが、敷地面積は41,600㎡で、東京ドームの46,755㎡に負けておらず、展示面積で言えばドームを超えています。

「開館当初は12.5万人が来館されました。その後右肩上がりに増え続けて、最高は2016年の46万人です。残念ながら去年はコロナ禍によって2月29日～6月10日まで臨時休館したため、9.6万人と一気に減少しましたが、今年に入り少しずつ国内の来館者を中心に戻りつつあります。手前味噌になりますが、日本人に人気の博物館ランキングで、2020年には2位になり（1位はさいたま市の鉄道博物館）、2018年をもって終了した工場・社会見学部門では2015年よりずっと当館が1位を頂いておりました。国内の人気はもちろんうれしいですが、もともと外国人来館者の比率が高いため（2019年度実績約18%）、館内を案内する大型モニターは、英語はもちろん中国語、韓国語から選択できるようになっていきますし、パンフレットや音声ガイドにはタイ語、ベトナム語も対応していますから、一日も早く外国のお客さまをお迎えしたいという気持ちで一杯です」と榊原広報グループマネージャーは語ります。やはり「世界のトヨタ」です。

創業者の思いを今に伝える

見学推奨ルートに従って、まずはエントランスロビーから出発しましたが、目を奪われたのが回転円運動によって布を織りあげる「環状織機」です（写真3）。トヨタグループの創始者豊田佐吉は「理想の運動とは回転円



写真3 夢の織機「環状織機」

運動である」という考えから、1906年に「動力を空費せず、超幅広の布を静かに製織できる環状織機」を発明しました。この織機は「夢の織機」と評価され、世界19ヵ国で特許を取得しました。日本における科学技術の近代化の中で極めて画期的な発明であり、先人の技術遺産であることから2005年には当時の80円切手に選ばれました。

豊田佐吉の名は織機の発明に一生を捧げた立志伝中の人物として小学校で習った記憶があります。日本人が欧米の模倣に準じていた時代に、佐吉は日本人の技術力や科学の力の可能性を示しました。そのあくなき「研究と創造の精神」を象徴するシンボルとして、環状織機がエントランスロビーに動態展示されていますが、この展示機は1924年に製作された現在唯一残っている完成機です。

動態展示ということで、この環状織機は1日に数回実演タイムがあります。大正時代に造られた織機がちゃんと動くのですから「さすが世界のトヨタですね」とお二人に話しかけましたが、見学が進む中でこの言葉を連発するようになるとは、この時は知る由もありませんでした。

豊田佐吉の長男が豊田喜一郎で、自動車生

産を事業化し、トヨタ自動車を創業した人物です。環状織機はたて糸切断時の自動停止機構などが装着されず、ついに商品化されないまま佐吉は亡くなりました。「夢の織機」といわれながら夢を果たせなかったのです。ただ、自動車の生産はもう一つの佐吉の夢でした。その夢を喜一郎が叶えるには、時代を待たなければなりません。父の「研究と創造の精神」と、子が情熱を注いだ「モノづくりの大切さ」が見事に交錯して、父から子に託された夢物語の始まりにワクワクしながら足を進めていくと、いきなり巨大な蒸気機関が現れました（写真4）。「自動織機の発明・完成の試験工場として設立した豊田自動織布工場には、1914年、スイスのスルザーブラザーで社製の蒸気機関を設置して、紡織一貫の完全なる営業的試験運転を重ねました」と川込さんが教えてくださいました。蒸気機関は産業革命の原動力となりましたが、繊維産業は明治時代にいち早く蒸気機関を導入、近代化の実現に役立てたのです。進取の精神に驚かされます。

繊維機械館では実演の連続に大興奮

館内は大きく分けて「繊維機械館」「自動車館」の2つから構成されています。まずは繊維機械館へ足を進めますが、目を見張るほど広々とした繊維機械館（写真5）は約3,400㎡の空間に、実際に使われていた繊維機械が展示されています。大正時代に建てられた工場の柱やレンガの壁をそのまま使用したそうです。「紡ぐ」「織る」といった時代のものから、現代の自動化が進んだものまで約100台を見ることができます。ごく初期の、糸車を使ったものからスタートし、江戸時代に使用された機織り機、産業革命のときに誕生した紡績機など、布をつくるという歴史が再現され、昔の道具を使用して綿から糸をつむぐ実演も行われているので、基本的なことから糸

と布について学ぶことができます。紡機技術の発展コーナーでは、糸を作っていく機械・紡機の移り変わりを見られます。日本の独創



写真4 繊維産業も蒸気機関を導入



写真5 広々とした繊維機械館

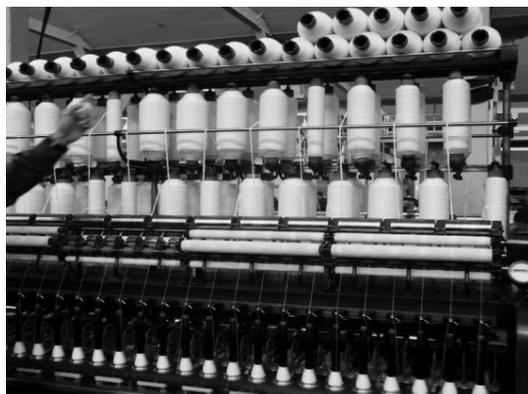


写真6 「粗糸」を引きのばして「撚り」をかけ糸を作る「リング精紡機」。1955年に豊田自動織機製作所が製造。男性スタッフ（豊田自動織機出向者）が丁寧に実演してくれます。

的な技術を取り入れた「ガラ紡機」が完成した頃、イギリスではすでに機械化が始まっていました。それから西洋の技術を取り入れたり、日本の技術を磨いたりし、試行錯誤の末現在の目にも止まらない速さで糸ができていく「全自動紡績システム」が誕生します。

丁寧な説明をしてくれる女性陣に交じって、男性スタッフ（豊田自動織機出向者）も実演に参加、説明する口調に熱がこもり、聞いている私たちも思わず背筋を伸ばします。近代の紡績過程のコーナーでは①混打綿、②梳綿、③練条、④粗紡、⑤精紡の5つの工程にすべて実演者がいました。5つ目の精紡は糸をさらに引き延ばし、撚りをかけて糸を作ります（写真6）。

実演者は話術も巧みで時折ジョークを交えて楽しませてくれますが、精紡の段階で「撚り」という言葉が出てきて、その撚りはいつか戻すという話に「だから撚りを戻すというのですね」と私が声を出したら「今、言おうと思っていたところです」と苦笑されました。

ただ眺めるだけでなく実際に機械を動かしてもらえると、機械の音に耳を澄ましつつ詳しい説明を聞くことによって技術の進歩の様子が手に取るように分かるのも、この記念館の魅力といえます。

繊維機械館の出口付近では現代の技術を目にすることができました。ジャカード付エア

ジェット織機（写真7）は、コンピュータが写真のデータを読み込み、2色のたて糸と6色のよこ糸を制御することで繊細な絵柄を織ることができます。かつて豊田佐吉が発明したたて糸が切れた際に自動で停止する装置に使用されたドロップは、最先端のジャガード付きエアジェット織機にも使われています。写真で何度も見てきた佐吉さんの嬉しそうな顔が目浮かびました。

自動車づくりの神髄に出会う自動車館

いよいよ自動車館へ。自動車館は、トヨタの自動車づくりを4つのゾーンに分け紹介しています。全体で7,900㎡にもなる広大な展示エリアは自動車の仕組みや生産の技術、また自動車づくりの歴史などのすべてが体験できる展示になっており、見応え十分です。自動車工場がそのまま入ってしまったかのような充実ぶりに圧倒されます（写真8）。

まずは自動車事業創業期エリアから見ていきます。今のトヨタ自動車を創業したのが豊田佐吉の長男である豊田喜一郎であり、自動車産業が発展する以前まで遡って、トヨタが歩んできた自動車づくりの道が紹介されています。

喜一郎は大学卒業後、繊維機械の研修のために訪れた欧米で、当時日本ではまだ珍し



写真7 ジャカード付エアジェット織機



写真8 自動車館



写真9 小型エンジンの試作



写真10 材料試験室



写真11 トヨタ初の乗用車トヨタAA型乗用車
(1936年)

かった自動車の普及に目を奪われました。1923年に未曾有の被害をもたらした関東大震災によって、日本でも復興の足として自動車の有用性が着目されるようになりました。1929年の2回目の欧米視察によって、斜陽化する繊維産業から、次の一手は自動車産業に打つと、帰国後喜一郎は工場の片隅で小型エンジンの試作を始めました(写真9)。

豊田喜一郎は自動車の生産を始めるにあたり、材料に関する問題を最も重要視していました。しかし当時の日本の製鋼業界には自動車用鉄鋼材料を安定して供給できる能力はありませんでした。そのため喜一郎は大量生産を見据えた自動車用鉄鋼材料を自前で研究す



写真12 来館者に人気のミュージアムショップ

る必要があると判断して、当時の帝国大学とほぼ同等の最新研究機器を備えた「材料試験室」を設立しました(写真10)。ゼロからのスタートを切った喜一郎の苦闘の日々が始まりましたが、失敗をいくつも重ねた結果、ついに1935年5月、最初の試作車A1型試作乗用車が完成しました(写真11)。

物語は、一気に進みG1型トラックの開発、1936年にはトヨタからトヨタへ、濁音のな

い「トヨタマーク」が制定されます。1964年の東京オリンピックを前後に高速道路が整備されると自家用車の時代が到来します。ここからが本番ですが、時間の関係で足早に自動車館を駆け抜けることになりました。全容をお伝えするには本当に1日がかかりになりそうです。

今回を第1章として次の機会につなげることを榊原広報グループマネージャーと川込プロジェクトマネージャーにお約束して、最後はトヨタ産業技術記念館ミュージアムショップへ案内してもらいました。繊維機械にまつわる商品から自動車関連グッズまで、愛知県の代名詞「モノづくり」を楽しめる商品を幅広くラインナップしています(写真12)。一番人気はオリジナル商品のスパナスプーン・フォークのほか、自慢の実演から生まれたコンロッドキーホルダーやタペストリーなど、トヨタ産業技術記念館ならではの大人も子どもも楽しめる商品が揃っています。記念館が布を提供して、近隣の福祉作業所が製作してい

るトートバッグとマスクを購入、300頁の「トヨタ産業技術記念館」ガイドブックも手に入れました。ガイドブックというよりトヨタの物語が凝縮された立派な読み物になっています。

帰りの新幹線の中で分厚いガイドブックを読み進むうちに、日本の産業技術を担う若い人たちはもちろん、一人でも多くの人に「モノづくり」の大切さを伝えたいという思いが強くなっていきました。進化し続ける画期的な博物館 トヨタ産業技術記念館に足を運んでいただき、時間をたっぷりかけて、モノづくりという夢の世界に浸ってみてください。

トヨタ産業技術記念館

開館時間：9：30～17：00

休館日：月曜（祝日の場合は翌日）、年末年始

入場料：大人500円・65歳以上300円・中高生300円・小学生200円

〒451-0051

名古屋市西区則武新町4丁目1番35号

TEL：052-551-6115/FAX：052-551-6199

安全・健康・職場環境の課題を
総合的にマネジメント

産業安全保健エキスパート[®] 養成コース (オンライン併用予定)

【第17期】受講者募集

産業安全保健エキスパート[®]とは、産業現場における安全、健康、職場環境に関わる課題を総合的にマネジメントする各職場における中核人材です。養成コースでは、安全・健康・職場環境の課題を三位一体的に捉え、大学院レベルの講義と実践を行います。講師は、産業界、学界より厳選された専門家や産業安全保健エキスパート有資格者が務めます。

開講日

前期 ▶ 2021年 10月14日 (木)・15日 (金)・16日 (土)
前期 ▶ 2021年 11月11日 (木)・12日 (金)・13日 (土)
前期 ▶ 2021年 12月 9日 (木)・10日 (金)・11日 (土)
後期 ▶ 2022年 2月17日 (木)・18日 (金)

科目例

過労死の実態と防止対策／産業事故・転倒事故／産業安全総論／産業機械の災害防止手法／健康経営／企業で安全と取り組む／企業で健康と取り組む／企業で職場環境の改善と取り組む／外国人労働者の安全と健康／女性労働者の安全と健康／高年齢労働者の安全と健康／自動運転と社会受容／健康的で生産性の高い働き方とオフィスづくり／IoTを職場改善に生かす／外資系企業で安全保健と取り組む／海外進出企業の安全保健活動を支援する／アジアで職場環境改善に取り組む／BCPで自然災害に備える／暴力・ハラスメントの組織的対応／これだけは知っておきたい熱中症対策／ワークショップ

申込 詳細

公益財団法人 大原記念労働科学研究所
産業安全保健エキスパート[®] 養成コース担当事務局

URL <https://www.isl.or.jp> E-mail expert_unei@isl.or.jp

働く人たちが現場ですぐに応用できる
対策志向トレーニングの実践マニュアル

これでできる 参加型職場環境改善

全頁カラー

- 第1章 参加型対策指向トレーニング (PAOT)
- 第2章 PAOT の実際的な応用
- 第3章 アクションチェックリスト
- 第4章 実際的な低コストの解決策
- 第5章 グループワーク
- 第6章 PAOT ファシリテーターの役割
- 第7章 PAOT ワークショップの企画と運営
- 特別付録 参加型職場環境改善のためのアクションチェックリスト例

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435 (事業部)
FAX: 03-6447-1436
HP: <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所 

[著] トン・タット・カイ 川上 剛 小木和孝
[訳] 吉川悦子・小木和孝・仲尾豊樹・辻裏佳子・吉川 徹

体裁 B5判並製 130頁
定価 1,320円(税込み)

図書コード ISBN 978-4-89760-331-5 C 3047



統計学の基礎から学ぶ 作業環境評価 個人曝露評価

熊谷信二

体裁 A4判
総頁 254頁
定価 2,200円(税込み)

- 第1章 序論
- 第2章 測定値の取扱いの基礎
- 第3章 気中有害物質濃度の時間的空間的変動
- 第4章 作業環境濃度の測定と評価法
- 第5章 個人曝露濃度の測定と評価法
- 第6章 作業環境測定と個人曝露測定
- 付録 正規分布
- 資料 対数正規分布
作業環境測定基準
作業環境評価基準
日本産業衛生学会の勧告する許容濃度

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所 

あなたは
・作業環境評価法の理論を完全に理解していますか？
・有害物質濃度の分布が対数正規型であることを自分で確認
しましたか？
・有害物質濃度の変動の大きさがどの程度か知っていますか？
・欧米の個人曝露評価法について知っていますか？
この本を読むと、
これらの質問にYESと答えられるようになります。

ネパールの家内労働職場から

川上 剛

アジアに多い家内労働者

最近のILO統計（Working from home: From invisibility to decent work, 2019）によれば全世界で2億6千万人の家内労働者がおり、これは雇用全体の7.9%を占めています。家内労働者はアジア・太平洋地域で最も多く1億6千6百万人で、世界の家内労働者の65%を占めています。多くの国では家内労働者の割合は被雇用者の10%以下ですが、ネパール、ラオス、カンボジア、フィリピン、インドネシア、バングラデシュはじめ13の国ではその割合が15%を超えており、それだけ人々にとって身近な雇用・仕事の場となっています。

前回の連載で述べたように家内労働者の多くはインフォーマル経済にあつて公式には見えにくく、労働者保護その他の政府の支援の適用外にあります。こうした中、ILOはネパールとインドにおいて日本からの資金協力を得て、家内労働者の労働条件改善のためのプロジェクトを実施しています。労働安全衛生の改善もプライオリティーの一つです。

さまざまな家内労働者

ネパールの首都カトマンズは歴史に彩られた古くて落ち着いた街並みが続きます。その一角パタン地区はILOのネパールオフィスから近く、出張したときには私も早起きをして散歩をします。古都だけあつて寺院や趣のある路地が続きます。小さな店が連なり、食料・衣料等の

日用品の店もあれば、観光客向けの土産物店や古い建物を改造したおしゃれなカフェやレストランなども目につきます。大小さまざまな寺院や祠で祈りをささげる地元の人たちに出会い何か心を洗われる光景です。一方で2015年のネパール大地震の爪痕がいまだに残ります。倒壊して再築中の寺院もあれば傷んだまま手のついていない寺院もあります。地元の民家もつかえ棒を立てて崩れるのを支えているのが目につきます。

そんなカトマンズの街中では多くの人たちが家内労働者として仕事をしています。作られているものも、衣服や帽子から、金属性の仏像、タンカと呼ばれるチベット仏教の仏画、指輪・ネックレス等の宝飾品までさまざまです。タンカを作る作業（写真1）は写真のように長時間の座業で、細かい筆先で描くのですが肘や腕の



写真1 タンカ絵画には細心の集中力が必要です

かわかみ つよし
労働安全衛生・労働監督シニアスペシャリスト、ILO南アジア
アディーセントワーク技術支援チーム、ニューデリー

支えを使っていません。聞いてみると右上腕から肩にかけての痛みを訴える人が多くいます。タンカは日本でも人気があるようで多く輸出されています。試みにネットで「タンカ」と検索してみるとずいぶん高額で売られていることがわかりびっくりします。でも元々のタンカ絵師たちに入る収入は微々たるものです。若い絵師が多いのですが話してみるとよりよい収入を求めて韓国等への出稼ぎを考えている人もいます。

金属性の仏像の製作も盛んに行われています(写真2)。ここでも作業姿勢等の人間工学的な課題がありますが、もう一つ心配なのは仏像の金メッキに使用される水銀アマルガムへの暴露です。水銀と金のアマルガムを仏像表面に塗り、それをバーナーで加熱すると水銀が蒸発して金メッキが残ります。この工程で作業者は無機水銀の蒸気に暴露してしまいます。実際話を聞く中で水銀中毒の症状である上肢の震顫のある作業者にも会いました。2018年に本誌が「労研アーカイブ」の紹介を特集した際に、「鯉沼茆吾, 水銀取扱工場並に職工の中毒症状参考資料, 労働科学2巻3号(1925)」という論文を紹介させていただきましたが、その論文にあった鎌倉で鎧兜を作成していた鎌倉の職工の水銀中毒の例と状況が似ていて驚きました。現場でできることとして換気のよい場で作業し扇風機を使って作業者に水銀蒸気が暴露しないようにと、と



写真2 仏像の製作には熟練の技があります

りあえずアドバイスしましたがもちろん根本的な対策にはなりません。その上でILOからも監督官に作業改善の必要性を強く伝え、また、手工芸品生産組合でもガイドラインを作って水銀暴露を減らそうとしています。しかし規制する法規が未整備でまた個々の家内労働者たちは職を失うのではとの不安からもっと包括的な支援・対策が必要です。

家内労働には女性が多く携わっていることも特長です。近所の女性たちが集まって共通の仕事場で、毛糸の帽子を編んだり(写真3)あるいは靴を作ったりとさまざまです。家内労働者を支援するNGOもあり製品を少しでも有利に高値で売って生活を安定させることを支援しています。また、ILOとも協力して安全衛生を含む労働条件改善をサポートします。また夫の暴力等から逃れてきた女性たちが集まって共に衣料品を生産しながら生活している職場もあります。

家内労働職場でトレーニングを実施する

こうした家内労働者とコンタクトをとってさまざまな職場を見せてもらい共に改善を検討するためには、地元労働組合のネットワークによる協力が必要でした。ここでは全ネパール労働組合連合(ANTUF)のバドゥールさんが、不利な立場にあるインフォーマル経済作業者を組織化するために活動しており、彼とその仲間たちの先導で私たちILOチームもこんなにいろいろな作業場に受け入れてもらえました。



写真3 共同の仕事場で毛糸の帽子が編まれていきます

こうして学んだ地元の好事例や改善イニシアチブを取り入れて、地元安全衛生トレーナー養成のワークショップを実施しました。政府、使用者、労働組合、NGOの代表が参加して、アクションチェックリストの活用と地元好事例に始まる低コスト改善手法について学び合いました。どこか外部に会場を設けてトレーニングするのではなく、地元トレーナー自身の方から家内労働職場を訪れてその作業の現場でトレーニングを実施する職場トレーニングアプローチを進めました（写真4）。家内労働者の多くの収入は出来高で、もし外部でトレーニングが実施されて出席して作業を休めば収入も失われますし、そもそも職場を離れること自体不慣れなことです。一方で私たちトレーナーが現場を訪れてそこで簡便なトレーニングを実施すれば作業場の誰もがちょっと仕事の手を休めて容易に参加できます。

こうした職場トレーニングではパソコンやパワーポイントは使えませんから、好事例イラストや写真をA3の紙にカラー印刷してそれを紙芝居のように参加者に見せる写真シート方式を使います。まずはアクションチェックリストによる自身の職場点検の後でトレーナーが見える化した改善事例を示し、次に参加者がグループワークで自身の職場の強みと改善提案を作成・発表してトレーニングは終了です（写真5）。大体3時間程度あれば実施できます。道具立てとしてはアクションチェックリストと写真シー

トさえあればさしたる準備も必要なく簡便に実施できます。グループワークの結果いろいろな改善提案があったのですが、皆がまず第一に必要なとしていたのは仕事場における安全な飲み水でした。カトマンズはネパール大地震の後で地方から職を求めて転入する人が増え街中が水不足に陥っていることは聞いていましたが、職場でも喫緊の課題になっていることを知らされました。ちなみに参加していた若い家内労働者の多くは地方から出稼ぎに来た人たちでした。

フォローアップ訪問から

数カ月後いつものようにフォローアップのためニューデリーからカトマンズを再訪しました。養成した政労使NGOからなる地元トレーナーたちは自身のネットワークを通して多くの家内労働職場にアクセスして職場トレーニングを実施していました。彼らに先導されてトレーニングに参加した家内労働者の職場を訪問しました。自身でチェックリストを使って改善点を把握し自分たちのアイデアで改善が進んでいたことがとても印象的でした。天窓の設置や既存の電灯の位置を下げての照明改善、トタン屋根の下に天井を設置した暑熱対策、作業台と椅子の高さ調整と姿勢改善、卵の入れ物を壁に貼付した騒音軽減、救急箱の設置等です。また、織り機を窓近くに据えなおして採光と換気をよくしたり（写真6）、使用する化学薬品の入れ物へのラベル付けもありました。一方、手工芸品業者組合では水銀蒸気の回収装置の導入と安全



写真4 地元トレーナーは写真シートを使って熱心に改善事例を紹介します



写真5 若い家内労働者たちが熱心に改善案を話し合いました



写真6 織り機を窓近くに据えなおして
明るさを改善しました

作業手順を定め、より少ない暴露での作業システムへの移行を検討していました。

結びにかえて

今回あらためてネパールの首都カトマンズで多くの家内労働者が豊かな伝統と創意工夫を基

に、素晴らしい仕事を受け継いでいることを知りました。人々の作業の中にあるさまざまな健康・安全リスクを参加型のアプローチを通して改善支援していくことは、ディーセントワーク達成全体に向けた目に見える協同作業を強化するよい導入にもなっていました。政労使・NGOのネットワークから学びながら多くの草の根の家内労働者と知り合いトレーニングを実施できることも学びました。そして人々の改善意欲・アイデアの豊かさにも驚きました。タンカ絵画や仏像のように日本へも輸出されている生産物があることも教えられました。

現在コロナ禍の中で直接再訪することができなくなっていますが、その後職場における新型コロナ予防のためのウェビナーを開催したところ、そこでも彼らのネットワークを通して予防のための職場改善事例を幅広く紹介・共有することができました。ネパール・南アジア諸国における無数の家内労働者へのアプローチと職場改善作業を今後とも一步一步継続していきます（本稿に書かれているのは筆者個人の見解でありILOを代表するものではありません）。

医療・看護現場の改善を支える参加型活動への応用と改善策

医療職場の 人間工学チェックポイント

シリーズ最新刊！ 全頁カラー

ISBN 978-4-89760-337-7 C 3047

体裁 A4判 172頁

定価 1,980円(税込み)

〔構成〕 資材保管と取り扱い
医療機器と手持ち器具の
安全性

人の安全な移送

ワークステーション

作業環境

有害物質および有害要因

感染予防対策

福祉設備

緊急事態への備え

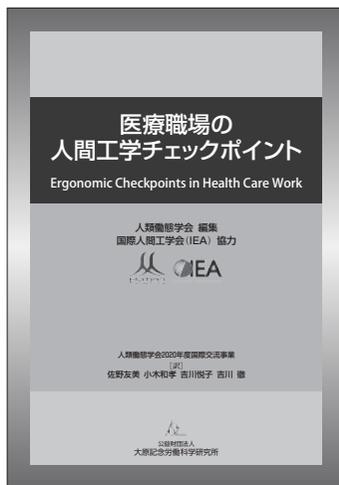
作業組織と患者の安全

〔資料〕

参加型トレーニングにおける使用方法

医療現場アクションチェックリスト

医療現場の改善実例



人類労働学会編集
国際人間工学会（IEA）協力
人類労働学会2020年度国際交流事業
〔訳〕 佐野友美・小木和孝・吉川悦子・吉川徹



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷1-1-12
桜美林大学内3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436

公益財団法人
大原記念労働科学研究所

日本産業保健法学会第1回学術大会のご案内

テーマ：法知識を踏まえた問題解決を考える

大会長： 三柴 文典(近畿大学法学部教授)

副大会長： 香山 不二雄(自治医科大学名誉教授)

会期： 2021年9月23日(木・祝日)～24日(金)

開催方式： オンライン開催及びオンデマンド配信を予定

※但し、日本医師会認定産業医更新単位希望者のみ現地聴講(都内)可の予定

事前参加登録・お問合せ：<https://www.jaohl2021.info>

後援： 厚生労働省、日本医師会、全国社会保険労務士会連合会 ほか

セッション例：新型コロナ禍の労務と法/人格に偏りのある労働者への対応/産業医制度のこれから/社労士の役割/諸外国のハラスメント規制の効果 ほか

【日本産業保健法学会事務局】

〒162-0833 東京都新宿区筆筈町43 新神楽坂ビル2階

TEL: 03-5946-8844/FAX: 03-5229-6889 E-Mail: info@jaohl.jp



[改訂]
産業医学100話
 働く人の健康と病気

野村 茂

- 1 働く人々の健康と疾病
- 2 職業生活と循環系・血液系の疾患
- 3 労働と職業性呼吸器系疾患
- 4 職業生活と消化器系の疾患
- 5 労働と職業性皮膚疾患
- 6 職業生活と内分泌系その他の疾患
- 7 産業化学物質の作用と毒性
- 8 化学物質（無機化合物）による産業中毒
- 9 化学物質（有機化合物）による産業中毒
- 10 物理的要因による職業性疾患
- 11 生物的要因による職業性疾患
- 12 職業性ストレスとメンタルヘルス
- 13 これからの産業医学の課題

〒151-0051
 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
 桜美林大学内 3F
 TEL : 03-6447-1435
 FAX : 03-6447-1436
 HP : <http://www.isl.or.jp/>

体裁 B5判並製 280頁
 定価 本体 2,286円+税

公益財団法人
 大原記念労働科学研究所



図書コード ISBN 978-4-89760-312-4 C 3047



周辺領域に著しく関連分野を広げている
 現代心理学の偏りのない全体像を集成

心理学の理解

井上枝一郎編著

尾入正哲 向井希宏

川畑直人 久東光代

北島洋樹 細田 聡

井戸啓介 菅沼 崇

著

主な目次

【基礎編】

第I章 心理学の概観 心理学を見わたす

第II章 情報の受容と認識 見ることと知ること

第III章 人の情報処理 わかることの仕組み

第IV章 知識の構造 どうやって使っているのか

第V章 環境と行動 環境とのかかわり

第VI章 発達を知る ヒトは、どのようにして育つか？

第VII章 個人の内面の世界 心の中をのぞく

第VIII章 人間相互の関係 人と人とのかかわり合い

【応用編】

第IX章 ヒューマンエラーの話 人はなぜ間違えるのか

第X章 暮らしと職場の心理学 日常生活の中の心

終章 心理学からのアドバイス 心理学を役立てる

A5判 300頁
 定価…本体価格2,530円(税込み)

〒151-0051
 渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
 桜美林大学内 3F
 TEL : 03-6447-1435
 FAX : 03-6447-1436
 HP : <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
 大原記念労働科学研究所





SDGsによる社会の変化を直視する

泉 貴嗣

はじめに一連載にあたり

2016年に発効した国際目標であるSDGs。いまや多くの人を知るところとなり、もはや「SDGsって何？」から「SDGsってどうすればイイの？」というフェーズに入っています。一方、SDGsは「決まったやり方」があるわけではないので、その「方法論」については悩んでいる企業もまだ多く存在しています。このコラム「チャレンジ！SDGs」ではSDGsそのものを説明するのではなく、そういった悩みを持つ企業がSDGsにチャレンジするためのヒントについて書いてゆきたいと思います。

みなさんもさまざまなメディアなどでご存じのように、SDGsはサステナブル（持続可能）な社会を実現するために目指すべき17のゴールを掲げており、さらにそのゴールに関わる169のターゲットと、取り組みを評価するための244（重複があるため実際は232）の指標があります。SDGsの認知度は広がりましたが、これらを眺めたときに、まだまだ「企業は何ができるの？」や「17のゴールはビジネスと何の関係があるの？」と考える人が多いのが現状です。

いずみ よしつぐ：
CSR（企業の社会的責任）エバンジェリスト。東証一部上場企業の社外監査役、公益財団法人の理事、中小企業の経営者団体のアドバイザーなどを兼務。自治体の中小企業政策、中小企業のサステナビリティ経営の支援が専門。著述に『CSRチェックリスト～中小企業のためのCSR読本～』（さいたま市刊）、『やるべきことがすぐわかる！ SDGs実践入門～中小企業経営者&担当者が知っておくべき85の原則』（技術評論社刊）など

イラスト：ようこいずみ



ちなみに「自治体は17のゴール全てに関する取り組みを行っている」という「自負」や「誤解」もあるのですが、これはまた別の機会に書くことにしましょう。

社会運動の一環としての SDGs

SDGsは世界レベルでサステナブルな社会を創るための、グローバルな一種の社会運動です。気候変動や資源の枯渇、生態系の破壊、貧富の格差の拡大、大規模な自然災害の多発、企業の悪質な租税回避、人種差別、そしてコロナ禍など、この世界のサステナビリティ（持続可能性）を脅かすESG（E=Environment：環境問題、S=Social：社会問題、G=Governance：組織統治問題）に関連する問題—このコラムでは「ESG問題」とします—によって、世界全体がサステナビリティ（持続可能性）を脅かされています。

ビジネスレベルでは【世界のサステナビリティの危機=ビジネス環境のサステナビリティの危機】を意味します。みなさんもいままで、どこか遠い国のできごとだと思っていた大規模な自然災害が身近で発生したり、コロナ禍で危機感、つまり「社会の変化」を実感していると思います。みなさんの抱く危機感や感じ取っている変化は、ESG問題が他人ごとではなく「自分ごと」になったことの現れです。だからこそ、多くの人々がSDGs実践の必要性を認識しているのです。

ESG問題の深刻化と、それを解決しようとするSDGsの実践がもたらす社会の変化は物理的なものに留まりません。人々の価値観に大きな影響を与えつつあります。企業がSDGsにチャレンジするためには、まずこの価値観の変化を直視する必要があります。価値観の変化は「見

えにくい変化」のため、つい軽視してしまったり、リサーチを怠りがちですが、価値観は人が物事に取り組むモチベーションに密接に関わっています。だからこそ、価値観の変化を直視することは、SDGsに取り組む必要性を理解するための欠かせないポイントとなります。

ビジネスにおいてこの価値観の変化は、「顧客の価値観」と「将来の従業員の価値観」に如実に表れます。まず、顧客の価値観の変化について触れてみましょう。みなさんもご存じのように、ビジネスではQuality（品質）、Cost（価格）、Delivery（納期）のいわゆる「QCD」が重要だと言われてきました。しかし、環境問題への意識が世界的に高まるようになると顧客からはQCDだけでなく、自社の環境経営のあり方が問われるようになりました。そして企業はいまや環境経営だけでなく、コンプライアンスや社内の人権擁護のあり方、地域社会との関わり方まで顧客から問われるようになってきました。

近年顧客から自社のCSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の実践状況に関する監査を受けたり、顧客から回答を求められるSAQ（Self-Assessment Questionnaire：自己問診）に上記のような内容が含まれるケースが増えているのは、現代社会のESG問題の深刻化があり、顧客はさまざまなステークホルダーに対して、自社のサプライチェーンにおけるESG問題への対応について説明責任—サプライチェーンの中に環境問題だけでなく、社会問題が起きていないことを説明する—を果たすことが求められているからです。このような環境性や社会性を基準にした調達を「サステナブル（CSR）調達」と呼びますが、SDGsの登場はこのような顧客の価値観の変化を後押ししています。

Z世代の就職活動

では、もう一方の将来の従業員の価値観の変化はどうでしょうか。コロナ禍で一部の業種の深刻な不振が見られますが、コロナ禍以前からわが国は労働力不足であり、この不足は長期にわたって続くと考えられています。いくら顧客から選ばれる企業、ビジネスであったとしても、実際に製品やサービスを提供するのは従業員です。彼らの存在なくして、企業やビジネスのサ

ステナビリティはあり得ません。これまで企業は成長戦略を実行する際に従業員に膨大な業務量を課し、時には彼らのプライベートを犠牲にするような滅私奉公を求め、ESG問題も「国や自治体が対策すること」と考えてきました。しかし、将来の従業員である次世代の人々、特に「Z世代（日本では1990年代後半から2012年までに生まれた世代）」と言われる世代は、このような労働観や企業観を縛られていません。

Z世代は物心ついた時からIT機器やサービスが身の回りにあり、それを使いこなして生活することが当然のいわば「ITネイティブ」ですが、同時に物心ついた時から深刻なESG問題に囲まれている世代でもあります。彼らはやがてESG問題の「当事者」として社会のサステナビリティに立ち向かわなければならないのです。だからこそ、それ以前の世代と比べてもサステナビリティに対する「本気度」が違います。そして、Z世代の最後の世代では学習指導要領にもSDGs関連の教育が組み込まれたために、サステナビリティの重要性を学校でしっかりと学んでいます。そのため、将来の従業員である彼らにとっては自分らしさやESG問題を等閑視する、SDGsが目指すゴールに反するような旧来の労働観や企業観はまったく魅力的ではないのです。

彼らはSDGsを学び、いままでの世代以上に働くことの「自己実現」や「社会的意義」を求めています。特に優秀な若者はこの傾向が顕著です。優秀な学生は寄らば大樹の陰、といった就職活動ではなく、企業のサステナビリティレポートを読み込んで、就職先の企業が本当に社会的意義のあるビジネスを展開しているかを真剣に考えています。また、優秀な若いビジネスパーソンは長い物には巻かれろ、といった処世術ではなく、ソーシャルベンチャーに転職したり、自らソーシャルビジネスを起業する、あるいは副業としてソーシャルビジネスに関わっています。

これらの価値観の変化はSDGsの登場によって一層加速しています。この変化はサステナブルな企業やビジネスには経済性だけでなく、高いレベルの社会性と環境性が求められていることを意味します。SDGsの登場は単に稼げれば



良いという時代の終わりを告げる弔鐘です。だからこそ、企業や旧世代がいくらこのような価値観の変化を理解できず、「キレイごとだ」などと批判し、抗っても、顧客と将来の従業員の支持を得られないため、現実のビジネスには無益どころか有害でしかありません。SDGsを実

践して本当にサステナブルになるためにはこの価値観の変化を直視し、社会や自然環境を漫然と食い荒らしてきた自分たちが「生まれ変わる」つもりでビジネスでESG問題に立ち向かう方法、SDGsの方法論を真剣に考えるしかないのです。

ワークデザイン

OCCUPATIONAL ECONOMICS
WORK
ワークデザイン
DESIGN
第7版

ステファン・コンズ / スティーヴン・ジョンソン 著
宇土博 / 瀬尾明彦 監訳
日本産業衛生学会 労働安全衛生学研究会 監訳



労働安全衛生学研究会
労働安全衛生学研究会

健康・安全・快適で
効率的な職場を設計する
世界の産業人間工学の精華

S・コンズ / S・ジョンソン 著

宇土博 / 瀬尾明彦 監訳

日本産業衛生学会 作業関連性運動器障害研究会 編

- 1章 技術社会
 - 2章 マクロ人間工学
 - 3章 ワークステーションの編成
 - 4章 オフィス人間工学
 - 5章 ワークステーションの設計
 - 6章 筋骨格系障害
 - 7章 マニキュアルハンドリング
 - 8章 手持ち工具
 - 9章 制御
 - 10章 表示
 - 11章 エラーの低減
 - 12章 安全
 - 13章 時間的人間工学
 - 14章 P T S法(動作時間標準法)
- A4判並製 328頁
定価・本体価格 4,000円 + 税

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL : 03-6447-1435
FAX : 03-6447-1436
HP : <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所



産業医、産業看護師、衛生管理者、安全管理者
衛生工学衛生管理者、産業衛生技術者、産業歯科保健関係者
福祉関係者、人間工学者、産業工学関係者、生産設備技術者
プロダクトデザイナー、学生のための産業人間工学テキスト

大阪の地で「労働安全衛生大学」開講から40年にわたった
講師団と労働者の熱意が呼応した一大研修事業の意義と全体像

労働安全衛生研修所 40年のあゆみ

労働安全衛生研修所
40年のあゆみ

1970—2009

1970—2009
The In-Service Training Institute
for
Safety and Health of Labor



〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL : 03-6447-1435
FAX : 03-6447-1436

公益財団法人
大原記念労働科学研究所



編集：「労働安全衛生研修所40年のあゆみ」編集委員会

- 第1部 40年のあゆみ
労働安全衛生研修所のあゆみ / 三戸秀樹
- 第2部 40年をふり返って
江口治男 / 圓藤吟史 / 金澤 彰 / 金原清之 / 桑原昌宏 / 小木和孝
近藤雄二 / 佐道正彦 / 徳永力雄 / 中迫 勝 / 藤原精吾 / 水野 洋
- 第3部 議事録・名簿
総会・理事会・評議員会議事録 / 歴代役員一覧 / 歴代顧問一覧
歴代講師一覧 / 修了者数年次推移・団体別推移
- 第4部 資料
関連文書：財団法人労働安全衛生研修所設立趣意書ほか / 梶原三郎
講座募集案内：1970年度 / 1999～2001年度 / 2008年度
国立生命科学センターの提唱：1978年8月
研修所30年のあゆみ 1970～2000 日本語版：2000年3月
運営資料

最新刊!

図書コード ISBN 978-4-89760-335-3 C 3047

定価 A4判函入上製 180頁
本体 2,500円 + 税

「#教師のバトン」で伝わる

教職員の 過酷な勤務環境

2

藤川 伸治

「#教師のバトン」を 教員の命と健康を守る出発点に

本誌前号で、3月26日から文部科学省がツイッターで教員の魅力を集めるプロジェクト「#教師のバトン」（以下、バトンプロジェクト）を始めたところ、仕事の過酷さを訴える投稿が相次いでいることを報告した。長時間労働を生み出す職場の人間関係に苦しむ声、管理職の労務管理意識の低さを示すなどの投稿が続いている。このような学校職場の現状を踏まえ、教員が人間として大切にされ、生き生きと働けるようにするために、まず、着手すべきことは何かを検討した。

バトンプロジェクトへの期待と不信

当初は、文科省が現場の声を踏まえた施策を進めようという姿勢を感じ、好意的な投稿もあった。

<3月29日 華先@a139BF2VDQQZaVS>

#教師のバトン 目的とは違ったTweetが集まりそうだけど、それをきちんと見てくれて改善してくれたらそれこそが初めのバトンになりそうだよ。がんばれ教員、がんばれ文科省！

文科省は、長時間労働の改善、部活動の負担、顧問制度の廃止、給特法¹⁾の改正、教職員定数の改善、免許更新制度の廃止等さまざまな意見が上がっており、改革を加速化させていく必要性を強く実感しています、と回答している²⁾。

しかし、給特法見直しは、2022年実施の文科省による勤務実態調査を受けて検討する予定であることが決まっており、しかも、給特法に係る投稿は改正ではなく、廃止を求めている。教員免許制度は、教員の任命権をもつ教育委員会の約8割が「見直しが必要」³⁾と考えているほど課題が多く、現在、中教審で審議が進んでいる。しかし、教員免許制度を審議する部会の副座長である松木は、教員の資質・向上に役立つことから継続すべきと述べており⁴⁾、廃止になるかはまったく先行きは見えない。期待だけが膨らみ、結果的にはそれに答えることができなかった場合には、現場に不信と諦めをもたらす。残念ながらすでにその傾向が出ている。

<5月28日 青い鳥@zNlmaq7w5BwBoOg>

#教師のバトン があったから、助かるかもしれないと思った。教師のバトンがあったから、初めて希望を抱いた分、絶望した。文科省担当者さん、ここで変えなければ、教員も、教育も、本当に崩壊します。

労働安全衛生体制の現状と課題

4月3日、寺西⁵⁾はフェイスブックに次のような投稿をしている。

（前略）本タグのtwitterを恐らく日本で一番見ている人間の一人として、感じます。（中略）**一つだけ言えるのは、教師の健康や心理的安全性を保つことが学校教育で最も大切なことの一つ、と強く思い、教師の労働環境の改善を強く願ひ、そしてそのために言動している方が、今一番本企画の良し悪しを最も客観的に見れている方だと思います（傍点は筆者）。**

ふじかわ しんじ
特定非営利活動法人 教育改革2020「共育の杜」理事長

教職員の健康を守るための労働安全衛生法に基づく体制は、文科省調査によると、50人以上の職場での衛生管理者の選任率は1998年には小中学校全体で62.7%だったが、2019年は学校92.0%、中学校93.9%と改善されている。衛生委員会の設置率は1998年には小中学校全体で56.5%だったが、2019年は小学校76.6%、中学校82.3%となっている。産業医の選任は、50人未満の職場を含め、2019年には小学校79.9%、中学校85.1%となっている。

小川は、衛生管理者・衛生推進者・産業医の選任率や衛生委員会等の設置率の数値が高くなっているが、選任方法や活動、衛生委員会の開催頻度や活動実態は詳細なデータがないこと、衛生委員会も設置されていてもほとんど活動実態がない例も多くあるなどの現状を指摘している⁶⁾。さらに、労働安全衛生体制の整備の遅れの原因として、学校の管理・運営をする上では、給特法の存在のもと、長い間、勤務時間を管理する体制がなかったことや教員の養成、研修においても、労働基準法、労働安全衛生法等の内容を取り上げられてこなかったなどの問題点があるという。

独立行政法人教職員支援機構（以下、NITS）が提供する研修⁷⁾、各教育委員会等が過去10年間に作成した研修教材⁸⁾を調べたが、労働基準法、労働安全衛生法に関わるテーマを確認することはできなかった。一方、校長研修のあり方に係るNITS調査⁹⁾では、メンタルヘルス、働き方改革に関わる校長研修をNITSで行ってほしいという教育委員会などからの要望もあることが明らかになっている。働き方改革を進めるためにも労働安全衛生活動実態の調査・分析を踏まえた効果的な活動に係る研修プログラムの構築が必要である。

学校職場の心理的安全性

学校職場の心理的安全性について検討をしてみる。心理的安全性とは、意義ある考えや疑問や懸念に関しても率直に話しても大丈夫だと思える職場をいう¹⁰⁾。採用2年目の教員の投稿を紹介する。

担任2年目です。4月の残業時間が120時間でした。自分の業務をこなす力がないのは重々承知ですが。大ベテランの先生と組ませてもらっています。その方が毎日22時まで働いていて帰り辛いです。また、土日どちらも来るのが当たり前スタンスのため、土日も返上しています。帰ればいいじゃん、と思われるかもしれませんが、正直帰れないです。

帰れば次の日には「〇〇やっておいたよ。」と言われ、机上にはやっていただいた仕事がたくさん置いてあります。「ありがとうございます。」で済むかもしれませんが、若手ながらに申し訳なさに押しつぶされます。

「お先に失礼します。」と伝えるのが怖いです。周りの先生方に、“あの”ベテラン先生が残っているのに帰るの？と言われ、後ろ指を指されている気がしてなりません。上手く形容することはできないのですが、職員室特有の雰囲気ってありませんか？「遅くまで働く人＝素晴らしい先生」といった雰囲気。

投稿に書かれているベテラン教員は、「正直、そこまでやっていたら際限がなくなると思う程、丁寧な方」という。この投稿からは、子どものために無定量な献身を是とする文化があり、「やらねばならない」「自分の要領の悪さ」と自らの内に抱え込み、この自虐的姿勢が常態化するとそれぞれの教員の自己効力感・精神的健康度の低下につながる¹¹⁾、という学校職場の特性がうかがえる。

「お先に失礼します」と伝えることが怖いと思うのは、その教職員の問題ではなく、職場全体の雰囲気によりつくられたものであり、それが人的資源である教職員のパフォーマンスを落とすことにつながっているのではないかと。

現在、学校教育は、教員志望者減少、人員確保困難という深刻な現状になっている。今回のプロジェクトは、教員の魅力を集め、社会に発信すれば、この現状を変えることができると考え、進められている。しかし、多くの投稿は学校職場が命と健康、そして安心して働ける職場環境ではないことを訴えている。

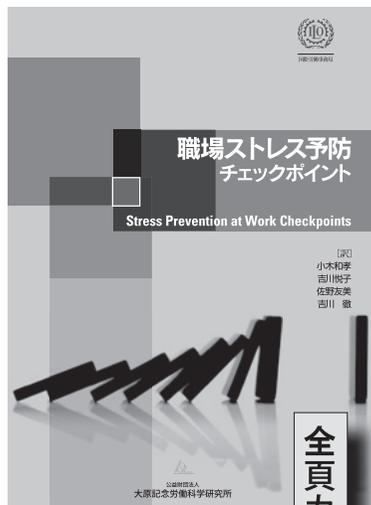
文科省は働くものの命と健康が大切にされる

労働環境づくり，自分の恐れや不安を安心して話せる心理的安全性がある職場環境づくりの事例を収集し，グッド・プラクティスとして発信するべきだ。さらに，収集されたグッド・プラクティスを分析し，当該学校における組織運営や人間関係構築の特徴を明らかにし，教職員研修や学校運営上のガイドラインに反映させていくことが求められる。一朝一夕には制度を見直すことはできないが，グッド・プラクティスを集め，発信することはさほど予算をかけることなく実現できる。文科省は，現場の声に答えるためにも労働安全衛生という観点から今回の企画を進める必要がある。

注

- 1) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法
- 2) <https://mext-teachers-gov.note.jp/n/nb64fe9cb276d> (21年6月1日最終確認)
- 3) <https://news.yahoo.co.jp/articles/77832377b719159aaa7b9971488e66f1b832d4a1> (21年5月31日最終確認)
- 4) 朝日新聞，21年5月30日，松木は教員免許制度を審議する教員養成部会の副座長
- 5) 文科省MEXT広報戦略アドバイザー
- 6) 小川正人(東京大学名誉教授，2021年3月6日HNPO法人「共育の杜」主催のオンライン対談資料)
- 7) <https://www.nits.go.jp/training/> (21年6月1日最終確認)
- 8) <https://www.nits.go.jp/documents/materials/> (21年6月1日最終確認)
- 9) 育成指標に基づく管理職研修の現状と課題 育成協議会の設置と育成指標・研修計画の作成に関する調査研究プロジェクト報告書(2019)
- 10) Amy C.Edmondson「恐れのない組織 心理的安全性が学習・イノベーション・成長をもたらす」(英治出版2021)
- 11) 「教職員の自己規制と多忙化研究委員会報告書」(教育文化研究所，2017)

職場ストレス予防・ディーセントワークのための実際的な改善策



職場ストレス予防 チェックポイント

話題の最新刊

50のチェックポイントにまとめて取り上げ、なぜ必要か、どのように実施するかを示し、追加のヒントと覚えておくポイントを挙げ、カラーで図解。

訳者 小木和孝・吉川悦子・佐野友美・吉川徹

- 目次
- 第1章 リーダーシップと公正さ
 - 第2章 仕事の要求
 - 第3章 職務の裁量度
 - 第4章 社会的支援
 - 第5章 作業場環境
 - 第6章 ワークライフバランスと労働時間
 - 第7章 職場における貢献の認識
 - 第8章 攻撃的行為からの保護
 - 第9章 雇用の保障
 - 第10章 情報とコミュニケーション
- 参考資料
メンタルヘルスアクション
チェックリスト

体裁 A4判並製 144頁
定価 1,320円(税込み)
図書コード ISBN 978-4-89760-333-9 C 3047

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL : 03-6447-1435
FAX : 03-6447-1436
HP : <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所



Shift Work Challenge



労働科学研究所が設立以来、一貫して行ってきた夜勤・交代勤務研究の成果をまとめ、夜勤リスクをかかえる現代社会の人々に大いに活用していただくために、夜勤・交代勤務検定を始めました。今回新たに検定試験と研修を経て、交代勤務アドバイザーの資格を得る仕組みをつくりました。検定試験への挑戦を通して、夜勤のリスクを正しく知ること、健康対策や事故の予防につながり、夜勤に関する個人と組織の取り組みに役に立ちます。

本書の構成

- 1 夜勤・交代勤務 Q A
- 2 産業別の夜勤・交代勤務
- 3 夜勤・交代勤務の生理学・心理学
- 4 夜勤・交代勤務の知識
- II章 シフトワーク・チャレンジ 想定問題
- 索引 裏引き用語集

好評 廉価版

[普及版]

シフトワーク・チャレンジ 夜勤・交代勤務 検定テキスト

深夜に働くあなたと、あなたの周りの人に知ってもらいたい 80 のこと

代表編集
佐々木 司

公益財団法人 大原記念労働科学研究所
シフトワーク・チャレンジプロジェクト企画委員会

■体裁 B5 判並製 112 頁
■定価 本体 1,000円＋税

図書コード ISBN 978-4-89760-332-2 C 3047



〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F

公益財団法人
大原記念労働科学研究所

TEL : 03-6447-1435 (事業部)
FAX : 03-6447-1436
HP : <http://www.isl.or.jp/>

地下水づくり

大原孫三郎と清水安三

(三)

兼田 麗子



大原の人的支援

(1)大原の人的支援概観

閑谷学校の同級生、河原賀一が苦学しながら第一高等学校、東京帝国大学に進んだ際の学資支援が大原の最初の人的支援である。ちなみに、この河原のみならず、閑谷学校時代の先輩、中村純一郎や妹尾順平、同級生の神社柳吉は後年、大原の事業を支える重要な人物となったのであった。いずれにしても大原は、数多くの人物に学費支援などを行った。大原は欧米の貴重図書や絵画の購入、図書寄贈、組織に対する支援も行ったが、人的支援の詳細に改めて目を向けると、その後、社会で有意な仕事を行ったリーダーたちが多く含まれていることがわかるだろう。

以下の表1は前述した大津寄勝典氏（倉敷紡績の元社史編集長）がまとめた「大原孫三郎による寄付・寄贈・助成」一覧（『大原孫三郎の経営展開と社会貢献』354-360頁）からの人材支援の抜萃である。

(2)義兄の遺志継承

育英事業は、元々は大原の義兄、原邦三郎

が、閑谷学校時代からの親友、仙石良平と高杉晋とともに煮つめて、大原の父、孝四郎に提案していたものであった。既述したが、東京帝国大学在学中だった仙石、そして高杉は、大原の東京遊学時代の放蕩の後始末（金銭・人間関係ともに）に関しても邦三郎を助けていた。

大原家の育英事業と邦三郎に関しては『大原孫三郎傳』（31-2頁）に表記がある。少し細かく見てみることにしよう。邦三郎は、「かねてから有為な青年に学資を援助したり、友人の事業に資金的に後援するなど、多くの隠れた善行があった」と伝えられているが、いわゆる陰徳の精神に富んだ人物だったようである。大原が義兄を慕う気持ちも相当であったと考えられる。閑谷学校になじめない、もっと進取的な場に身をおきたいという気持ちを大原は義兄には正直に打ち明けていた。閑谷学校を優等で卒業した邦三郎は、進取的な側面も強く持つ大原には閑谷学校は合わないとわかりつつも閑谷学校への入学の手はずを手伝った。そのための責任も感じ、最終的には大原の東京遊学が許されるように、父孝四郎の説得に動いた。また、東京での放蕩によって借金が膨らんだ大原を邦三郎は秘かに助けていた。邦三郎の死後、邦三郎の実家から届いていた大原家所蔵の書簡によると、邦三郎は実家の田畑を売却するなどして大原の借

かねだ れいこ
桜美林大学ビジネスマネジメント学群 教授
大原記念労働科学研究所 特別研究員

表1 大原孫三郎の人材支援

年*	支援対象者	支援内容	注記
1897	河原賀一	学資支援	
1899	森三郎	留学支援	足尾銅山の实地調査へ同行した友人
1900	岩田宙造・上野貞正	雑誌発行費支援	
1901	上代淑	学校経営費支援	上代が校長を務めた山陽高等女学校には寄宿舎増築費などをその後も支援した。
1902	岩田宙造	弁護士開業費の一部支援	
1904	菅之芳	負債救済	大原の主治医。医師を当初は目指していた石井十次が岡山県甲種医学校で学んでいた際の校長。大原夫人との縁談まとめなどにも尽力した。
1908	児島虎次郎	留学費用支援	大原美術館は大原が早世した親友、児島を偲んで創設したものであるが、同美術館を代表する絵画の多くは児島が留学時代に購入した。
1908	満谷国四郎, 近藤萬太郎, 小野寺伊勢之助	留学費用支援	
1913	河田嗣郎	留学支援	『歴史の終わり』を著したことで有名なフランス・フクヤマの母方の祖父。『国民新聞』に勤務していたこともあり、徳富蘇峰つながりもあって支援が行われたようである。
1920	浮田和民, 櫛田民蔵, 久留間鮫造, 小林益太郎, 辻緑, 波多野正雄, 大内兵衛, 森戸辰男, 市川濟一, 暉峻義等, 松本圭一, 山口弥輔, 早野常雄, 兼常清佐, 高橋雄吉, 脇田政孝, 高田慎吾, 大原五一, 清水安三, 徳岡英, 武内潔眞, 細川嘉六, 高野岩三郎, 富田象吉	留学支援	早稲田大学の教員, 大原がつくった3つの科学研究所(社会問題, 農業, 労働科学)の研究員, 倉敷中央病院の医師, 石井十次が同郷の大阪警察署長の相談をうけて大阪市で開始したセツルメント活動を受け継いで大原が設立した石井記念愛染園, 及び大原の事業をサポートしたスタッフなどの氏名を認めることができる。
1942	田崎健作	生活費支援	大原と懇意だった前述の牧師。

*大津寄氏の一覧表の年表記に従った。

金の穴埋めもしていたようである(邦三郎は大原の姉と結婚して婿養子に入った)。

このような邦三郎の遺志継承に大原が注力したことは想像に難くない。大原は、東京で活躍する岡山県出身の有力者たちを訪問し、協力を要請した。歴訪した仙石良平(クラレの社長を務めた仙石裏の父)、高杉晋、そして橋本卯太郎(橋本龍太郎元首相の祖父)、犬養毅、木村清四郎(日本銀行の副総裁も務めた)、阪谷

芳郎(阪谷朗廬の子で渋沢栄一の次女と結婚)、桜井熊太郎(内務省などの役人経験を有した弁護士)たちからの賛同を得た大原は、邦三郎たちがまとめた「大原奨学会規程」を基にして「大原奨学対資規則」を作成して公表した。

(3)地下水づくり

倉敷教会の田崎牧師が、人材支援について、大原と交わした会話を伝えていた。大原の学

資支援を得て、中には中学から高校、大学と、また海外留学までも果たしながらも、一切便りを何もよこさない人物がいたそうである。大原も人間であるから、不愉快に思い、もう奨学金を出すことは止めようかということをして壽恵子夫人に話したところ、夫人が、「それはいけません。あなたが金銭を出したからこういう結果になるとか、目に見えるようなことはいけません。名前は知られてはいけません。私は書きひかえています、名前は決してあなたには申しません。ただ、東大には何人いる、欧州への留学者は何人、何人は六高にいるということだけ申します。あなたは、そのお金だけを出してあげればそれでいいんです」と言われたそうである。夫人とのこのやり取りにふれた大原は、また、次のようなことも田崎に言っていたという。「地下水というものがある、雨が降ってそれが地下に落ちていけばこそ、樹木や野菜、田んぼなどもみんなできるのである。ただ表面だけで流れておる川であつたらそれはだめだ。かえって泥水にするより他にない」と。

実際に大原は、地下水が時間を経て大地を潤すような経験をしていた。岡山県には吉井川、旭川、高梁川という大きな河川があるが、中でも高梁川の氾濫による水害には周辺住民は何度も苦しんできた。知事から相談を受けた大原は、氾濫を起こす高梁川の堤防づくりのために上京して内務省を訪れた。そのときの土木局長が次のようなことを話したという。「実は私は六高、東大、ドイツ留学までをみんなあなたからさせていただいたのですが、若さゆえ、金を出してくださる人に頭を下げるのも嫌で、感謝の言葉を一度も述べたことがありませんでした。こんな年齢になってからで申し訳なかったが、いまさら訪ねていくわけもいかず、今、こうして名刺をもらって驚きました」と。そして、高梁川の堤防善処に動いてくれた。「そういう人がいたからこそ、高梁川の大きな堤防が10年もか

かって完成したんだ。だから田崎さんも、信者であろうと信者であるまいと、そんなことは考えずに、ただ真面目にね、熱心に人に親切にしてやればそれだけでいいんだから、地下水を作るためなのだから」ということを大原は言っていたというのであった。

(4)大原の人的支援例

①田崎健作

田崎は、大原と林源十郎の援助を得て1年半ドイツへ留学した。また、その後、生活支援も受けたという。田崎は、倉敷を去った後には京都、そして東京の本郷教会へ赴任したのだが、倉敷を去る際、林源十郎の子息から貯金通帳を受け取った。林や大原によって6万円が貯金されていた。「その時代の6万円は大変なお金です。そのお金のおかげで私は、本郷教会も助けて、月給なんか何一つもらわずに続けることができました」と田崎は振り返っていた。

②柳宗悦

大原は、柳宗悦をはじめとする民芸運動を先導した人たちを支援した。柳は、庶民の家出身ではなく、いわゆる「山の手」の家庭に生まれたが、貴族的な物の美しさよりも、地域の風土や習慣、伝統の中で培われてきた名も無き職人達による民衆的工芸(民芸)にこそ、健全な美があると考えた。多元性にもつながる民衆美を高く評価し、人々の意識を変革しようとして民芸運動を展開した柳の願いを知った大原は、民芸美への理解を促進するための民藝館設立に資金を提供した。東京大学の駒場キャンパス近くにある日本民藝館は、大原の支援をうけて1936年に建てられたものであることはあまり知られていないかもしれない。

亡くなる前日の夜に大原は、民芸の夢を見たという。「夢の中で柳宗悦が何かを欲しがっていた。あれは何とかしてやらねばなるまい」と言っていた(『孫三郎傳』393頁)。柳が

大原との交流を記述している文章からも、両者の間には絶対的な信頼があった様子をうかがい知ることができる。軍国主義や権威主義を嫌い、信念に基づいて、既存の価値観とは違う見方を推奨する実践行動をとった柳に大原は、自分と似ている反抗の精神を感じ取っていたのかもしれない。

③寺尾元彦

大原は、東京専門学校（現早稲田大学）を中退した直後の明治35年10月の500円を皮切りに、早稲田大学基金へ何度となく寄附を行っていたが、後に法科長、法学部長を務めた寺尾元彦の1912年から3年間に及ぶドイツ留学費用も、大原が支弁していた。大原側は、大原の側近中の側近で、早稲田大学出身の原澄治が、早稲田大学側は市島謙吉が調整・実務を担当した。

寺尾が留学した時期の早稲田大学は、自ら教員を養成しようと踏み出した頃に相当すると金子宏二氏は指摘している（『市島謙吉書簡（原澄治宛四通）—寺尾元彦留学一件資料』『早稲田大学史記要』第32巻〈通巻第36号〉、早稲田大学史資料センター、2000年）。この時期の国費留学は専ら帝国大学の教員たちのものであったこと、早稲田大学の教員の多くは帝国大学など他の大学で教鞭をとっていた人たちが就任したこと、従って大原は早稲田大学の自前の教員育成にとっても大きな役割を果たしたということ、早稲田大学の第12代総長を務めた西原春夫氏からも直接聞いたことがある。

一方で大原も貴重な欧州の状況をうかがい知る機会を得た。寺尾は、留学費用の提供をことのほか喜び、途中航路や欧州での見学地についてや近況について報告する葉書を小まめに送ってきたのであった。早稲田大学史資料センターの「原澄治氏旧蔵 寺尾元彦留学関係資料」には例えば、1913（大正2）年10月6日付けで「イブセン、ビョルンソンの墓等見学後只今（午後六時）ストックホルム行きの汽車に乗り込」んだことを、翌年の元旦

には「旧年中は一方ならぬ御厚誼を蒙り……当伯林に再び新春を迎ふる」ことができたという近況報告と年賀の挨拶を認めた葉書が保管されている。

寺尾は第1次世界大戦の勃発によって1915年11月に帰国したのだが、帰国後の寸暇をおしんで「少しづつ書き蒐めた」「滞欧三年（第一編欧州航路入獨逸記）」を翌年にはまとめた。「専門研究の余暇に出来た副産物に過ぎぬ」ものではあるが、「知己家郷等に送り又は送らんとして果さなかつた通信を加えて資料として纏めて見たいと思立」ち、「滞欧三年」として「三年間に知り得たる実と感想とを細大洩さず記述」してみた寺尾は記していた。「若し之を読む人に多少裨益する所があるならば実に幸で」あり、「亦恩人に対する報告」の一編にもなると思つてのことだと寺尾は考えていた。

その他の早稲田大学関係者としては、安部磯雄たちが社会問題研究のための資金援助を受け、また、浮田和民は世界見聞調査を大原の支援で行うことができた。大原家には、浮田和民が各地で撮りためた写真を貼付した報告アルバムが保存されている。

④その他—友成九十九、清水安三

拙著『戦後復興と大原總一郎—国産合成繊維ビニロンにかけて』（成文堂、2012年）では、大原孫三郎の子息、大原總一郎が現在の株式会社クラレにおいて、合成繊維ビニロンの自社開発を放棄しなかつたことに焦点を当てたが、そのビニロンの開発を主導した同社の友成九十九氏も大原から奨学金を得た人物の一人であった。

また、この後、漸く詳細にふれていくことにする桜美林大学の創始者、清水安三の米国オベリン大学への留学資金なども大原が支援していた。

（つづく）

漂流者たち クミジョの肖像

3

クミジョ研究はなぜ存在しないのか(2)

本田 一成

「クミジョの敵はクミダン」説

浅倉むつ子ら『労働運動を切り拓く』（旬報社）は冒頭からクミジョとは何者であるかを痛快に伝える。いわく「労組の女性には、使用者と労組男性という2つの敵対者がいる」と。男性組合員も女性組合員も当事者に違いないが、労働運動ということなら、クミジョの敵がクミダンであると言いたいことはすぐわかる。

ということは、労組役員を対象とした調査を実施した場合も、男女を並列するのはもちろん、両者を比較して女性役員の特徴を取り出す、というありがちな手法自体を疑う必要がある。それは実に浅い分析になると言っているように聞こえる。実際に浅倉らは、クミダンに触れてはいるが、比較対象にはしていない。仲間関係であるはずの労組の中で、足並みが揃わないどころではない共喰い関係があることになり、真否はともかくわかりやすい話である。

同書は画期的な「男女雇用機会均等法」の制定までの準備過程でクミジョがどう動き回り、使用者やクミダンがどう抵抗したかを、クミジョが語るという内容であり、手に取って頁をめくるとその手が震えた。

クミジョ研究はあったのである。クミジョの意に沿わないまま制定され、いまだに未完と見なす「男女雇用機会均等法」を中心に分析する体裁であり、クミジョ研究として読み込まねばならないものの、クミジョの情報が豊富で読者とクミジョは至近距離になる。

クミジョが開陳する体験は一事が万事、クミ

ジョの存在や立場を色濃く見せていく。「女性役員の割り当て増員に男性役員が反対した」「男性型の働き方に女性を当てはめて保護か平等かなどと言い出す」「母性保護とはこれに他にも含ませて男性の反対に合わないためのもの」「育児休業だと所得保障は不要だと言うくせに介護休業だと保障が必要と言う」「どこでそれが決まったんだ、と意地悪される」などはほんの一例である。これらのどこが変なのか気づきもしないクミダンが率いる労組は、クミジョからすれば全然民主的ではないのである。

出身組織から選出され派遣されてくる役員とプロパー職員の上下関係の中に、クミダンとクミジョの上下関係の法則を見透かすクミジョがいた。クミジョの敵はクミダン、という構図を研究のフレームにどう入れるかどうかは後回しにしたとしても、この構図がクミジョ研究を進めるための鍵になることは間違いない。

例えば、この構図からすれば、クミジョが女性活動を担うのは当たり前である。なぜならば、女性活動のほとんどは、女性が男性から差別されることをやめさせることであるからである。クミダンが女性活動を担ったらアウトである。やりたいと言うクミダンが現れたら身構えるのは自然で、やりたくないもなかったのに、と言うクミダンがいたら憂鬱になるのは当然であろう。現在はアウトにならないとでも言うのであろうか。

前回取り上げた高木郁朗らの著作から、この構図がまったく感知されないことが、私の違和感の一つであることを知った。こうなると同じ武勇伝でも伝わる内容が大きく違う。それならばはじめから浅倉らの本を読めばよかったのに、と言われそうだが、同書は分析対象時期が古く

ほんだ かずなり
武庫川女子大学 教授

ても、近年に出版されたのである。

なお、同書は、他にもクミジョ研究たる知見を提示している。労線統一の前に、つまり連合結成に先立ち、ナショナルセンターを異にするクミジョたちはしっかり連携していたのである。クミジョはつながろうとすればつながれる。

本家・クミジョ武勇伝

浅倉らの本にも登場するが、クミジョの中には女性オルグがいる。小著『オルグ！オルグ！オルグ！』（新評論）を執筆するための調査では、たくさんの女性オルグが視野に入ってきたが、残念ながら割愛した。

浅倉らの本で登場する伍賀借子は、職業はオルグ、と明記している。『職業は忍者』なる本を読んで驚いたことがあるが、言えて妙である。クミジョの人数が極めて少ないのでオルグの仕事の比重が高まるのは当たり前だが、プロパー採用で女性オルグとして配置されるクミジョがいた。伍賀は大阪万博でセクハラや解雇を見過ごさず、労働者権利意識が薄く漂流していた女性1000人超を組織化したという。「男女雇用機会均等法」の時期には、結果の平等か機会の平等かで男性たちと対立した。クミジョたちからすれば、ごまかしの平等だからである。

連合発足で女性専従オルグ制度が消失したことで、女性をつなぐ職業自体がなくなり、男性中心の労働運動を憂い、女性オルグを願う求める伍賀は、労働運動では女性たちが決して自然にはつながらないことを教えてくれる。

伍賀は7人の女性オルグに語らせた別の本も出している。それぞれが女性活動で大きな成果を上げているが、私が拾ったのは、ほんの一部しかわからないけれど、むしろ生活の方である。それは浅倉らの本ですら、連合会長に立候補して敗れた鴨桃代などの例など一部しかうかがい知れなかったからである。生活のないクミジョなどいない。でもどんな生活ぶりなのかかわからない。

鴨は他のクミジョたちが語らない自分の生活

について多くを語る点で異色である。私の知る限り、確かにクミジョは自分の人生を語らない。聞いてみると意外に語るクミジョがいるが、大半は語らない。だが、鴨は当然のように、父親や夫のこと、彼らとの対立を書き、自分が生きる社会の中でどうしてそうなるのかを結び付けて考えている。腑に落ちる。

また、私を知る若いクミジョは仕事と生活の関係を明らかにしない。断片的に、結婚していないから、子どもがないから、かなり異端でしようから、などと言う。鴨のように武勇伝がなく鴨のように自分の生活から来るクミジョとしての一貫性がないことに、クミジョを続けながら心を痛めているのであろうか。

クミジョは労組にいてクミダンが考える運動家らしく振る舞わされている可能性がある。自らの生活のことを封じているか、封じられているのかもしれない。自分のことを脇に置かず、自分の生活を社会のこととつなげて考えることを宣言して活動することが、いったい何に抵触するのであろうか。妻が専業主婦という場合が多く、生活のことを語らない、語れないクミダンに、いやいや調子を合わせて同じように振る舞うことが、平等なのだろうか。もしそうなら、クミジョはクミダンの代替要員にされてしまう。同書はこういう点も教えてくれる。クミジョ研究のヒントにすべきであろう。

「均等法制定後も連合の会議で私が女性の賃金問題を取り上げると、「そんなことは女性集会で言えよ」と男性役員に話を打ち切られることがあった」と高島順子は苦々しく振り返る。些細なオンナコドモの話にされてしまうのである。同書の冒頭の浅倉の言葉が再び聞こえる。クミジョが自分の生活を語って活動するなどというのは、いやクミダンもそういう体裁をとる場合があるのだが、夢なのであろう。

だが夢であれ何であれ、こうして書かなくてもよいはずのことを書くと、一つの目標になるような気がするから、不思議なものである。

(つづく)

「同じ立場の人たち」業界活動を通して知る

福成 雄三

筆者のいた会社の業界は、「産業の米」と言われた製品を生み出し、第二次世界大戦後の復興期から産業界を支える気概をもって安全衛生活動に取り組んでいたのだと思う。先輩たちが築いたことを礎にして、延べ二十数年間、業界の安全衛生関係委員として関わった。「さまざまな人との出会い」を思い出す。

新幹線でビール

最初に業界活動に関わったのは、A事業所在籍中の1988年に、業界として化学物質管理の考え方を整理する場だった。本社の担当（筆者の前任者）KI氏が海外文献の調査をするなどしており、お手伝いした。関係機関と業界の関係などを知る最初の機会だった。

本社に異動してから本格的に業界活動に関わるようになった。業界の会議はほとんどが東京で開催され、出席のために大阪から出向いた。当時は、関西にある同業他社の担当KY氏と新幹線で一緒に帰阪することが多く、新大阪で降車するまでビールを飲みながら公私の話が盛り上がり、あっという間に時間が過ぎたことを覚えている。最初に誘われたときは、他社とのお付き合いの経験が少なかったこともあって、緊張していたが、回を重ねるごとに「慣れて」きた。

同じ立場の人たち

業界活動の中で多くの人たちと出会った。同

業他社で、「安全衛生管理を同じ立場で担当する人」と接することはとても面白かった。発言内容や取り組んでいる内容から、所属会社の中で安全衛生管理がどのように位置付けられているのかを筆者なりに感じ、その会社のマネジメントの考え方が見えるような気がした。

業界の活動にはさまざまな目的がある。「業界の利益のための対外的な折衝や調整」「行政からの要請・指導への対応」「業界の評価を高めるためのアピール」「加盟各社の支援（安全衛生水準の向上）」などで、実際には、複合的な意味のある取り組みが大半になると思う。

業界活動への取り組み方は、人（会社）それぞれだった。業界の安全衛生水準向上に意欲的な人、口ではあれこれ言うが実際には何もしない人、会議で会社の立場を言うだけの人、いわゆるサラリーマン的に余分なことはしたくないという姿勢の人などもいた。会社の大小には関係なく、業界の活動を単なる「お付き合い」や対外的な「やってる感」のためのものだと考えている人もいた。失礼な言い方かもしれないが、会社におけるその人の立場・位置付けや力量（組織を動かすことができるか）なども垣間見えた。このようにいろいろな人がいたが、「会社員」としてのそれぞれの生き方でもあり、善し悪しを云々することではないと思う。

全体としては、会社の立場を超えて協力的な人が多く、効率は別にして、業界として意味のある活動が行われていたのではないかと思う。一方、業界活動で外部の専門家などの力を借りることもあるが、的を射た成果に結び付けるためにはコミュニケーションがとても大切だということも感じた。

ふくなり ゆうぞう

公益財団法人大原記念労働科学研究所 特別研究員（アドバイザーボード）

日本人間工学会認定人間工学専門家、労働安全コンサルタント（化学）、労働衛生コンサルタント（工学）

担当した取り組み

筆者が主要メンバーの一人になって取り組んだこともある。業界の「衛生スタッフ実務マニュアル」の作成メンバー（前述のKY氏が主査）に加わったことが最初だと思う。Q&Aを中心に300ページ位の大部だったと思うが、会員会社7社がメンバーになり、2年ほどかけて1992年に完成させた。各社の研修所や保養所に泊まって議論したこともある。この作成を通して他社メンバーとの距離は大きく縮まった。完成したマニュアルは、評判も良く、15年ほどして後輩たちが改訂版を作ってくれた。

2007年に業界としての安全管理者研修・衛生管理者研修の企画を担当した。それぞれ二日間コースを基本とした研修で、講師は業界内のベテランの協力を得ることにした。新任や中小規模事業場の安全管理者に業種特有の課題を踏まえた講義や意見交換の場を提供できたのではないかと思う。現在も継続して、原則として毎年実施されていると聞いている。

2009年には、業界の「安全管理者の実務」というテキストを作成した。これも業界に特徴的な課題への対応や各社の管理ノウハウを共有することを目指して、安全衛生関係委員（会社）で分担して執筆した。筆者が主査として監修したが、苦勞した。提出された原稿は、玉石混交で、納得感のある内容を丁寧に記載したものもあれば、何を伝えたいのか全く分からないものまであった。概して大手の担当者の書いた内容は、理由はさまざまだが、大幅に手を加える必要があった。会社や役職に関係なく、それぞれ人には得手不得手があるという当たり前のことを強く感じた。原稿執筆者の機嫌を損ねないように気を配りながらの書き直しは大変だった。これも300ページを超える大部のものになったが、読み通すことができる読物になったと手前味噌だが思っている。ただし、前述のマニュアルもそうだが、この類の資料は、最初に作ることは「勢い」でできても、使用できる状態を維持することはなかなか難しい。いい内容のものであっても、書棚の飾り物で終わってしまうこともある。

他には、法改正や行政からの指導への対応、新型インフルエンザ対応、化学物質調査、放射性物質対応、特定化学設備管理、訪欧調査、年2回の安全衛生大会の企画、研修会の講師などに関わったことが印象に残っている。多くは裏方仕事になる。

業界を通して外部安全衛生機関の調査・研究事業に関わる委員をしたこともある。2005年に厚生労働省の委託で中災防が委員会事務局となって作成した「鉄鋼業における化学物質管理マニュアル—一酸化炭素（CO）中毒防止—」が最も業界の安全衛生関係者の役に立っていて欲しいと思う成果物になる。大学教授、保護具メーカー社長とともに3名で執筆した。社内の関係者の協力を得ながら蓄積した管理ノウハウも提供して、業界における一酸化炭素中毒防止に寄与するものがあったと思っている。他にも委員になって関わったが、実務に有益な成果物の提供につながったかは分からない。

業界活動を通して

業界の活動には、業態別の活動や、行政の指導に基づく労災保険収支改善活動などもあった。詳述はしないが、業界本部の委員としてさまざまな形で関わり、さまざまな会社の、事業所幹部、現場管理者、産業医などを含めた多くの人たちと接したり、他社の職場を見学したりすることができたことは、筆者にとってとても有意義だった。それぞれの会社や事業所の「風土・文化」の違いも感じた。

筆者は、業界での取り決め（指針やマニュアル）が自社内の取り組みの後ろ盾になればと考えて業界活動に関わっていた面もある。「業界で決まった」とか「業界の資料はこうなっている」と社内と言うと、素直に（已む無く）従う人もいた。このようなことを考えながら、業界の活動を主導したりすることもあった。「お付き合い」として役割を分担していたこともある。全体としては、業界、延いては産業界の安全衛生水準向上に寄与することと考えて誠実に対応していたと思うが、関係者が筆者をどのように見ていたかは知る由もない。

生身のゆえ

文明発展からこの方、人間の過剰な活動が幾度となく生態系へ不意な干渉をもたらしてきた。それらの余勢がCOVID-19を呼び起こした。これらを身の内に抱え込んだ多くの人たちが、旅路に越境にと、世界中へ蔓延を促した。ワクチン開発・投与の中でも、いまだ地球規模の恐慌状態を演出している。

この状況の創出は中国からのようで、そこには文明下の気ままな振る舞いがある。勢いを地球規模に仕立て、共存・共栄を混乱させながら、世界中を悲劇の舞台へと引き込んでいる。この状況での真摯な対応には、合理的な平常復帰への償い以外に方策はない。

共生を旨とする生態系との自然発生的な掟に、文明の気ままな触手が本来の常態をかき回してきた。そのお節介さが、コロナウィルスの感染拡大を助長させている。

当時、人の往来の激しかった日本にも感染は持ち込まれ、止む術もなく全国に広まっていった。'21年が明けても、沈静化への取組みは悪戦苦闘のさ中にある。ワクチンの投与とて、いまだに先が見通せていない。

これに加え、たび重なる東北地方での雪害で自然災害が併発し、社会生活に衝撃を広げている。現代の技術文明が創出した鳴動に触れた(させてもらっている、か)人間側は、驚愕に気持ちが沈んだままだ。

これに呼応した、知る人ぞ知る自然界からの警鐘は予想以上にきびしく、感染拡大を深刻化させている。突きつけられた衝撃に加害者側は、悔悟の念を具現化させようとしても実勢は微動だにしない。積年の反省に即効性はなく、如何ともしがたい。

自明な衝撃の遠因は、人間に染み込んだ物欲の勝手気ままな振る舞いにある。科学技術を蓄積した産業界の発展による供給量の多さは、消費者の物欲を刺激し続けている。

そこには、必然的な消費廃棄物の創出と生活環境の劣化という相互作用がある。巡って、里

山のもつ共生機能の劣化が、社会生活の無節操さを論しても、利用者側は気づかない。

この現象が、表面的な豊穡さをもたらしながら、消費生活の流れを老廃棄物の蓄積へ、と促していく。結果として、物的な循環が停滞し、環境破壊につながる。その連鎖が、生態系の本来のあり方を脅かしている。

脅威、これは自明の理としての警鐘である。そこでは、自然界のもつ平衡機能をこえた最新技術が、新生の排出物を創製、拡散させているからだ。食は、より深刻となる。

この現象は、人類の無節操な物的豊かさへの欲求から始まる。ここでは、必然的な残渣物の



改めるに

肝付 邦憲

廃棄・増大という文明恥をさらしている。それらを頻出させる産業活動にも、互惠の消費生活の慣習にも、節度が求められる。

どこから

文明の発展が生態系への節度を欠き、消費生活に豊かさを偏重させた結果でもある。ここには、自重が求められる。現在の異常気象の創生は、生産能力と消費欲との不整合な、SDGsを欠いた相互作用にもある。

人類の少欲知足への倫理観が、脳裏から剥がれ落ちた証なのか。慣習となった消費、廃棄による無益な豊穡希求への無節操ぶりをも示す。もう一度、理性の発する自戒と、因果を見つめ

直す道理に気付く必要がある。

気づきの責任は以前からの指摘どおり、人口の自然増と思いがった生活の営み方にある。この生き方の是正には、自省こそが不可欠である。自省の実効性は幾世代も経てからで、いまだに末代への責任は重いまだ。

個々人の自覚と生き方への善用化が有意となれば、幾世代かを経て将来への展望を明るくしよう。そこでは、節度なき大量生産、大量消費という従来の経済活動への、倫理的な改善が見られようから。

人間の知恵と技の蓄積が、欲望の赴くままに、消費財に便利さと快適さ、豊穡さを加味させて



共生の
安寧願う
万代に理の
満ちゆきし
願い叶うや

きた。それらの集積が、産出物の量を消費生活の中にあふれさせた。

排出物の質と量が、生態系のもつ浄化循環の平衡能力内であれば、環境汚染の因とはなり得なかつたろう。大気圏のもつ地球環境の循環能力は、恒常性を維持する必然性をもっている。これが、地球環境の浄化とその恒常性を維持する要となっているからだ。

その恒常性にゆがみが生じて久しい。そこに巻き込まれた犠牲者たちは、人間だけではない。人間の行為が生態系への挑戦ともなっている。ここに問題がある。人間のもつ知恵には、理性の援用こそがいのちのはずだ。

その活用を誤れば、心身の不自然さ以外にも、

末代にわたる重大な自然災害を表出させやすからう。その結果が、循環浄化の働きに不可逆的な作用を及ぼし、生態系を悩ます環境劣化にもつながっていく。

あまりの規模の大きさに、人間として自戒し直そうと呼びかけたくても、多勢に無勢を痛感するだけだ。これほどに、甚大な失望感が身の内に満ちて来ているのが現代だ。

このままでは、末代へのいのちの甚大な犠牲に気持ちが沈み、手付かずのまま天を仰ぐのみである。生活を維持するいのちのあり方を前に、この活字のもつ想いなんて、身辺に浮遊する塵よりも軽い。気持ちは沈む。

それではならじ、と気を引き締め、ペンを再度、執り直してみる。なかなか意に添えない。激しい気象現象による生活への予想以上の衝撃は、現代の知識や技術による対応法では、未だに無勢だ。身辺に迫ってきている。

豪雪・猛吹雪、これらによる視界の白化（ホワイトアウト）が生じている。これが交通の便と文明の利器類を、これ程までに痛めつけているとは。これとて脅威だ。異常気象の阻止には、現代人の理に適った賢明な生活態度の維持こそが、末代への責任遂行ともなる。

求めるに

最近、夏、冬両季に異常気象が頻発している。それに伴う災害の大きさは、第一次産業革命からの文明発展史の、その流れの中にある。異常気象は、本来的な恒常性の、その流れの質的な変化への警鐘でもある。

根元には、人類が発展させてきた技術文明の成果と、その活用の良否が深く関わっている。いまだに、自然環境の浄化能力を越えた節度の無い、近視眼的な働きかけがある。

その結果が、自然界の創生期から保有する浄化能力と生態系への調和機能に、多大な負荷を与えている。これは、人間の止むことのない欲求の拡大が、生態系の浄化能力を軽々とこえてしまったからである。

その負荷の大きさには、自然界のもつ恒常性と調整能力に対する人類の過重な働きかけがある。その気付きが現代人の倫理観を刺激し、世界の安寧に寄与し得なくては。

これからの石綿対策

外山 尚紀

NPO 法人東京労働安全衛生センター／労働安全衛生コンサルタント／建築物石綿含有建材調査社協会副代表理事／大原記念労働科学研究所協力研究員

好評既刊!

最強の発がん物質＝石綿（アスベスト）の被害が止まらない。日本では石綿による疾患である中皮腫の死亡者は年間1、555人に達し、世界では毎年22万人の命を奪っている。石綿は建材に多用され、身の回りに大量に残されている。その対策は大丈夫なのか？

著者の20年の経験をもとに石綿のリスク、曝露の実態、石綿対策の課題を分析、検討し、これからの石綿対策を提案する。



ISBN 978-4-89760-334-6 C 3047

体裁 A5判 168頁
定価 本体 1,000円＋税

- 本書の構成
- 第1章 石綿と石綿のリスク
 - 第2章 石綿曝露
 - 第3章 石綿対策の現状と課題
 - 第4章 震災と石綿
 - 第5章 英国の石綿対策
 - 第6章 これからの石綿対策

・関連図表・写真を多数収載

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436



公益財団法人
大原記念労働科学研究所

クリソタイル アスベスト

話題の最新刊

毎年約22万人が肺がんなど関連疾患で死亡しているアスベストは、最も重要な職業性発がん物質のひとつである。アスベスト使用は減少しているが、特に発展途上国では未だにクリソタイルが広く使われている。本書はクリソタイルへのばく露に伴う健康リスクの管理に関わるすべての関係者に必須の一書。

編集：WHO(世界保健機関)

翻訳：職業性呼吸器疾患有志医師の会

斎藤肇太、柴田英治、田村昭彦、名取雄司、春田明郎、久永直晃、平野敏夫、藤井正實、舟越光彦、細川蒼至夫、水嶋潔、毛利平

目次構成

前書き

アスベスト関連疾患の克服

よくある質問と回答

追加情報

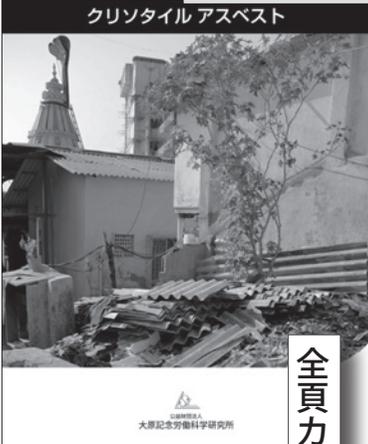
WHOのクリソタイル評価の専門的要約

・採掘・製成品製造・使用・ばく露

・健康への影響(肺がん/中皮腫/アスベスト肺)

・世界の疾病負荷/クリソタイルの代替繊維

・参考文献



全頁カラー

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所



体裁 A4判並製 50頁
定価 本体 1,000円＋税
図書コード ISBN 978-4-89760-336-0

安全衛生活動のあらゆる場面で手引きとして活用できる
新機軸・新構成のハンドブック

産業安全保健 ハンドブック

[編集委員]

小木和孝 編集代表

圓藤吟史 大久保利晃 岸 玲子 河野啓子
酒井一博 櫻井治彦 名古屋俊士 山田誠二

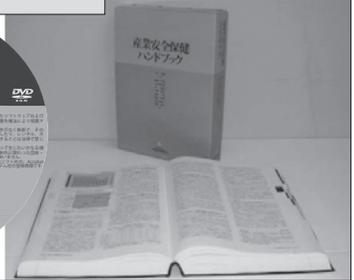
4頁と2頁の見開きレイアウト、
多数の図表・写真の挿入で、
読みやすく、使いやすく
「大震災被災地の安全と健康」の
付章を設け、23編の報告を収載
検索、カラー印刷に役立つ
カラー版DVD-ROMを付録に

産業安全保健活動にかかわる
項目を完全に網羅した充実の構成
各領域第一線の執筆陣272名が
372項目を書下し
項目ごとに見出し区分を統一、
最後に担当者の心得を具体的に提言

待望の最新版!

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: <http://www.isl.or.jp/>

体裁 A4判 函入り
総頁 1,332頁
本文 横2段組み 索引付
付録 DVD-ROM カラー版
定価 本体 50,000円+税



公益財団法人
大原記念労働科学研究所



人間工学チェックポイント

国際労働事務局 (ILO) 編集
国際人間工学会 (IEA) 協力
小木和孝 訳

第2版【カラー版】

安全、健康、作業条件改善のための
実際的で実施しやすい対策



体裁 A4判並製
総頁 338頁
定価 本体2,750円(税込み)

各チェックポイントは、挿し絵付きで、「なぜ」「リスク/症状」「どのように」「追加のヒント」「記憶ポイント」で構成。「このマニュアル利用のための提案」の節を設けて使い方をわかりやすく説明し、巻末に「現地に合ったトレーニング教材の具体例」を豊富に掲載。

- ・ 福利厚生施設
- ・ 作業組織
- ・ 照明
- ・ 構内整備
- ・ 有害物質・有害要因対策
- ・ ワークステーションの設計
- ・ 機械の安全
- ・ 手もち工具
- ・ 資材保管と取り扱い

広範囲の現場状況について応用できる実
際的で低コストの人間工学改善策を以下
の9つの領域に分けて、132のチェッ
クポイントで解説。

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷 1-1-12
桜美林大学内 3F
TEL: 03-6447-1435
FAX: 03-6447-1436
HP: <http://www.isl.or.jp/>

公益財団法人
大原記念労働科学研究所





演劇が描く「働く人々」

炭鉱の街に生きる労働者の物語

編集部

テネシー・ウィリアムズ無名時代の作品

『蠟燭の灯、太陽の光』はアメリカを代表する劇作家、テネシー・ウィリアムズの作品ですが、なんと大学生のときに書かれたものです。作品の舞台は大恐慌後の不景気にあえぐ米国南部、アラバマ州。25歳という若さで社会の暗闇に光を当てた作品を完成させたことは、のちにアメリカ演劇界を牽引する姿を予感させます。

ただ、この作品はトーマス・ラニア・ウィリアムズという本名で書かれたことやジョセフ・フェーラン・ホリフィールドという共作者がいたこともあり、出版にこぎつけたのは作者が亡くなってから21年の歳月が流れた2004年のことでした。

2014年、劇団民藝が日本で初めて上演

2014年に民藝が本邦初、東京・紀伊國屋サザンシアターで上演します。劇団のパンフレットによれば、この作品を翻訳した吉原豊司さんが民藝に上演を持ちかけたとあります。吉原さんの言葉を借りれば、創立以来リアリズム演劇路線を追求してきた民藝にぜひ上演してもらいたかったとのことでした。

作品が書かれた1930年代のアメリカは、大恐慌に端を発して不況が長引いていました。正義感に燃える青年ウィリアムズは、世界恐慌に揺れる炭鉱町を舞台に、貧しさにあえぐ家族の苦しみを、綿



▲「地に根を張ったような強さをもって迫る」ファーン役の日色とも丞

密にそしてドラマチックに描き出すことに成功したのです。アーサー・ミラーと並ぶ現代アメリカ演劇を代表するテネシー・ウィリアムズが、劇作家として名を成す前に書かれたこの戯曲は、社会の底辺で生きる人々の苦しみと明るい希望の光を、正義感に燃える若者の目でまっすぐにとらえています。

貧しいけれど誇り高く

舞台は、世界恐慌の嵐が吹き荒れるアメリカ・アラバマ州レッドヒル地方の炭鉱町。そこで暮らす貧しい炭坑夫一家三世代10年間の物語です。一家の主であるブラム・ピルチャーは、石炭を掘り家族を養っていることを誇りに働き続けていますが、妻のヘスターは子どもたちには奴隷のような暮らしから抜け出してほしいと願っていました。しかし、その願いもむ

なく、長男のジョンは働き口を求めて家を出てから行方が分からなくなります。長女のスターも帰宅が遅かったことで父に叱られ家を出ていきました。そんな折、ジョンの死を知らせる手紙が届き、未亡人となった嫁のファーンが、小さな男の子を連れてやってきます。

ファーンは一人息子のルークにはちゃんと教育を受けさせて、炭鉱夫とは違う道を歩かせたいと願うようになり、貧しい中、息子のために必死で学費を貯金します。しかし、母の想いを受け止められないルークは、17歳になったとき、足りない学費を自分で稼ぐといて、ファーンの反対を押し切り、ブラムとジョエルとともに、最も危険な五番坑に入っていきます。ファーンの心配は現実のものになりました。落盤事故が起こ

蠟燭の灯、太陽の光（テネシー・ウィリアムズ）

劇団 民藝

り、警笛が町中に鳴り響きました……。

物語のカギを握るのが、「組合活動」という考え方を持ち込んできたバーミンガム・レッドという炭鉱夫です。長女のスターはレッドに強く惹かれていきます。ストライキを物語の中心に据え、前近代的な社会構造へ激しい憤りと、労働者としての覚醒を見事に描き切ったこの作品は、初演から3年後の2017年には日本全国16カ所を巡演、2019年には首都圏地域の演劇鑑賞会が14公演を実施し、好評を博しました。ルークの幼い頃の役に各鑑賞会の関係者の子どもがそれぞれ起用されたことも話題を呼びました。ファーン役の目色ともゑの演技が「地に根を張ったような強さをもって迫る」と絶賛され、第22回読売演劇大賞優秀女優賞を受賞しました。

ひとすじの希望を求めて

テネシー・ウィリアムズの代表作『ガラスの動物園』や『欲望という名の電車』に見られるメランコリックな作風と違って、この作品では「貧しい中でも生きる術を健気に追い求める人々」が描かれ、エネルギーみなぎる力作となっています。テネシー・ウィリアムズは、1983年に71歳で亡くなりますが、13才の頃から短編小説を書き始め、亡くなる直前まで執筆を続けた多彩かつ多作な作家です。戯曲はもちろん、小説・詩・自伝・エッセーと幅広く手がけ、

「常に、人は変化しなければならぬ。」を信念としてきました。

『蠟燭の灯、太陽の光』は1937年にアマチュア劇団が上演以来、67年ぶりに発見されました。作品を翻訳し、民藝に紹介した吉原豊司さんの功績は多大です。

亡くなる直前まで執筆を続け、たえず変化することをめざしたテネシー・ウィリアムズの世界は、一人の作家とは思えないほど、多彩で多様です。年を重ねるにつれ、より抽象的、より象徴的、より前衛的になっていき、社会的テーマから人間の生き方への追求と次第に変わっていきました。

ファーンの息子ルークは光を意味します。絶望の底からひとすじへの光を求める再生の思いが込められた名前であると言えるでしょう。

原題=Candles to The Sun

訳=吉原豊司

演出=高橋清祐

<キャスト>

ブラム・ピルチャー（炭鉱夫）
……………千葉茂則

ヘスター（その妻）

……………箕浦康子

スター（その娘）……………桜井明美
ジョエル（その息子・次男）

……………西部守

ファーン（ピルチャー家の長男
ジョンの未亡人） ……目色ともゑ
ルーク（ファーンの息子）

……………岩谷優志



▲板橋演劇鑑賞会例会チラシ

バーミンガム・レッド（炭鉱夫）

……………吉岡扶敏

ミス・ウォーレス（学校の先生）

……………河野しずか

ティム・アダムズ（会社の売店の
マネージャー）……………山本哲也

ミセス・アベイ（支配人の妻）

……………戸谷友

エセル・サンター（隣人）

……………有安多佳子

ホワイティー・サンター（老人）

……………今野鶏三

ショーン・オコーナー（炭鉱夫）

……………内藤安彦

<スタッフ>

装置……………堀尾幸男

照明……………中川隆一

衣裳……………西原梨恵

効果……………岩田直行

舞台監督……………藤沢徹

協力=板橋演劇鑑賞会

幸せな職場の経営学

～「働きたくてたまらないチーム」の作り方～

幸せの4つ因子の実践！

前野 隆司 著

椎名 和仁

幸せな職場—労務管理者なら思わず手にとり、ページをめくりたくなる。人生で一番多く過ごす時間は働いている時間であり、誰もが安心して働ける職場環境づくりは大切なことである。

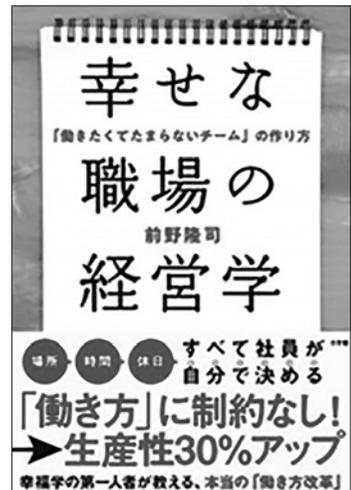
この本には、哲学や心理学とは違った、職場に「幸せ」という観点を取り入れ、組織づくりの実践的な内容が多く盛り込まれている。「幸福学」の第一人者である著者は、かつてロボットの心に関する研究を行っていたが、より人間の幸せについて考えるようになり、現在、大学で幸福のメカニズムを明らかにしようとしている。これからの職場には、なぜ「幸せ」が必要なのか、本の中身に触れてみたい。

アメリカの経済学者によると、我々の価値には「地位財（金、モノ、社会的地位）」と「非地位財（心、安全、健康）」の2つに分類でき、さらに、イギリスの心理学者は「地位財」による幸せは長続きしないのに対し、「非地位財」による幸せは長続きするという。そして、一番気になる収入と幸せの関係は、ある一定の所得を超えれば、その後、所得の増加や人生の満足度が上昇しても感情的な幸福度は変化しないという報告がある。ここからは、本質的な幸せは利益だけで得られないと捉えることができる。そこで、第1章では、著者の研究から得られた「幸せの4つの因子」として、「ありがとう！」、「やってみよう！」、「ありのまま

に！」、「何とかなる！」について解説している。そして、自律性のある組織として「ティール組織」や「ホラクラシー組織」の特徴に触れ、これからの時代には集団主義の良さ、個人主義の良さを兼ね備えた「ウェルビーイングな組織」の必要性を提案している。

第2章では、組織運営の視点から「ウェルビーイングな組織」と「幸せの4つの因子」の関係性を説明している。この組織のリーダーには、人と人、顧客と社員など横のつながりを創出し、チームのお互いが信頼し合いながら自由発想でチャレンジし合える土壌づくりが鍵になるとしている。第3～5章では、「幸せな職場」における4社の事例を紹介し、さらに、職場の悩みにQ&A方式で答え、幸せな職場づくりのポイントを説明している。最終章では、幸せな職場をつくることで、個々のチャレンジ精神を育むことになり、結果として組織の成長つながるとしている。

マズローの欲求5段階説によると、我々には1つ下の欲求が満たされると次の欲求を満たそうとする本能があるという。著者が提案する「幸せの4つの因子」は、まさにマズローの精神的欲求や成長的欲求を触発するところであり、直ぐにでも職場で実践できる内容だと思う。業種を問わず、職場のリーダーの方には、ぜひ、お勧めしたい1冊である。



前野 隆司 著

小学館、2019年5月、A5判、224頁、1540円（税込み）

第1章 どんな職場が「幸せ」なのか

第2章 ウェルビーイング第一主義が世界を変える

第3章 幸せな職場の実践例

第4章 職場の悩みQ&Aすべての組織は幸せになれる！

第5章 実践編・職場で今すぐにできる幸せレッスン

第6章 働き方の未来

しいな かずひと

住友電設株式会社 情報通信システム事業部

昭和期における労働科学研究所の国際協力

斎藤 一, 川上 剛

昭和期（1939年より1987年）の労働科学研究所の国際協力活動を概観、記述した。次の5つが主要な活動であった。第一に戦前および戦中に中国東北地方に研究所分室を開設し、中国人、ロシア人、日本人ほか民族の異なる農民の労働と生活実態の比較研究および鉱山労働研究を行い人間的な労働条件を探求した。第二に前所長、暉峻義等の熱意により1956年に第1回アジア労働衛生会議がアジア6カ国の参加を得て東京で開催され今日まで続くアジア労働衛生協会の礎が築かれた。第三に人間的な労働条件を実現するためのILOのプロジェクトに参加し所員を派遣した。第四にJICAの韓国における労働衛生向上プロジェクト形成と実施、ペルーにおける塵肺対策プロジェクトに協力した。第五に1957年に国交回復前の中華人民共和国への訪中医学団に参加し労働衛生分野における日中協力の基盤作りに貢献した。(表3)

(自抄)

表2. カソリック医科大学・産業医学センターからの労働科学研究所への研修生受入れ

Research fellows from the Catholic University of Korea received in the Institute for Science of Labour

氏名	年・期間	領域	研修事項
医博 李 匡黙 Dr. Kwang Mok LEE	1973. 1.14 ~ 3.14	産業衛生	1. 環境測定（大気および工場内） 2. ガスクロマトグラフィーおよび原子吸光スペクトロ・フォトメーターによる分析 3. 産業衛生領域に置ける研究方法 4. 工場視察
医博 裴 基澤 Dr. Ki Taek PAI	1973. 1.14 ~ 3.14	産業保健管理	1. 塵肺の病理と診断 2. 肺大切片標本の作成 3. 職業性疾患の診断と管理 4. 工場視察
医博 尹 任重 Dr. Im Goong YUN	1973. 10. 9 ~ 12. 8	産業医学	1. 塵肺の病理、診断と処置 2. 充塵職場の健康管理視察 3. 塵肺の補償

表3. ペルーからの労働科学研究所への研修生受入れ

Research fellows from the Peru received in the Institute for Science of Labour

医博 金 声天 Dr. Sung Chun KIM	1973.10. 9 ~ 12. 8	産業保健	1. 労働者の健康管理と補償 2. 産業における職業性疾患防止のための管理視察 3. 工場視察
沈 在章 Mr. Jae Wee SHIM	1973.10. 9 ~ 11. 8 (但し、労働省が主となる)	保険管理	1. 労働者の補償の管理 2. 医学的保険の管理 3. 病院管理
医博 李 榮浩 Dr. Yung Ho LEE	1977. 6. 2 ~ 8. 1 (但し、労災病院が主となる)	労災リハビリテーション	1. 労災リハビリテーション 2. 労災・職業病

製造業男性労働者におけるAUDITを使用した 有害なアルコール使用リスク評価とメタボリック症候群の関係

彌富美奈子, 原 俊哉, 杠 岳文, 堤 明純

男性製造業労働者(2978名)に対してAUDITで評価した有害なアルコール使用リスクとメタボリック症候群との関連性について検討した。AUDIT得点により低リスク群(0-7点), 中リスク群(8-14点), 高リスク群(>15点)に分類し, 下位尺度のアルコール消費領域を3群, アルコール依存症状・有害なアルコール使用領域を2群に分けて検討した。低リスク群を基準としたメタボリック症候群の調整後オッズ比は, 中リスク群, 高リスク群では1.50(1.05-2.92), 1.75(1.03-2.18)であった。アルコール消費領域では, 中リスク群, 高リスク群の調整後オッズ比は1.06(0.73-1.55), 1.61(1.10-2.43), アルコール依存症状・アルコール有害使用領域では, 高リスク群のオッズ比は1.46(1.05-2.03)であった。(表2) 男性労働者においてAUDITとその下位尺度で測定される有害飲酒指標とメタボリック症候群に関連がみられた。(表2) (自抄)

Table 2. Odds ratio (OR) and 95% Confidence intervals (CIs) for metabolic syndrome according to AUDIT score.

表2. AUDITの得点別メタボリック症候群のオッズ比(95%信頼区間)

AUDIT score	Crude OR		Multivariate OR Model I*		Multivariate OR Model II**		Multivariate OR Model III***	
	OR	(95% CI)	OR	(95% CI)	OR	(95% CI)	OR	(95% CI)
0-7	1		1		1		1	
8-14	1.41	(1.03-1.93)	1.44	(1.00-2.07)	1.53	(1.06-2.22)	1.50	(1.05-2.92)
>15	1.83	(1.19-2.81)	1.82	(1.10-2.99)	1.82	(1.09-3.04)	1.75	(1.03-2.18)
	Trend p<0.01		Trend p<0.01		Trend p<0.01		Trend p<0.01	
Subgroup of AUDIT								
AUDIT alcohol consumption domain								
0-3	1		1		1		1	
4-6	1.00	(0.73-1.38)	1.06	(0.73-1.54)	1.07	(0.73-1.56)	1.06	(0.73-1.55)
>7	1.54	(1.10-2.16)	1.56	(1.05-2.33)	1.64	(1.09-2.47)	1.61	(1.10-2.43)
	Trend p=0.02		Trend p=0.04		Trend p=0.03		Trend p=0.03	
AUDIT alcohol related problems domain								
0-1	1		1		1		1	
>2	1.31	(0.99-1.73)	1.45	(1.05-2.01)	1.49	(1.07-2.08)	1.46	(1.05-2.03)

* Adjusted for age and BMI.

** Adjusted for age, BMI, smoking, eating habit and exercise.

*** Adjusted for age, BMI, smoking, eating habit, exercise, occupations, shift work and overtime work (hours)

参加型職場環境改善の評価指標に関する文献レビュー

湯浅晶子, 吉川悦子, 吉川 徹

参加型職場環境改善の評価における課題と生産性・職場活力向上に資する指標について文献検討した。3つのデータベース(医中誌, PubMed, CHINAL)から1999~2016年に発表された原著論文のうち, 参加型職場環境改善の介入研究において何らかの評価結果が記載されている文献を分析対象とし, コーディングシートに従って文献に記載されている内容を整理した。その結果, 32編の論文が抽出された。評価指標は, 「身体的な健康アウトカム」「心理社会的な健康アウトカム」「職場風土・職場文化に関する指標」「生産性に関するアウトカム」「労働災害・災害休業・職業性疾患の発生日数」「その他」に分類され, すべての研究が複数の評価指標を設定していた。この中で12編は介入により有意な改善がみられた。参加型職場環境改善に対する評価指標の選択には, 改善する動機や目的を主効果として測定しており, それぞれの取り組み背景や主目的により設定する評価指標そのものが異なっていた。有意な改善が見られていない報告もあり, 職場環境改善の目的に応じた適切な評価指標の設定と体系的な評価方法を用いることが重要である。(表1) (自抄)

看護実践能力向上に不可欠な主要因子の探求： テキストマイニングによる臨床経験5年未満の看護師の記述文の解析から

今井多樹子, 高瀬美由紀, 中吉陽子, 川元美津子, 山本久美子

看護実践能力向上に不可欠な主要因子を明らかにする目的で、看護師522名に無記名の自記式質問紙を配布し、記述文で回答を求めた。253名の回答者から臨床経験が5年未満の看護師71名を抽出し、テキストマイニングで解析した。結果、言及頻度が高かった主要語は『職場環境』『向上心』『知識』『意欲』『能力』『経験』『患者』『コミュニケーション』などで、構成概念として【学習意欲に寄与する医療チーム内の教育・指導体制】【知識・技術力】【研修参加機会と人間関係を基盤とした職場環境】【自己の学習に寄与する先輩看護師の存在】【主体的な行動力】が判明した。看護実践能力向上においては、養育的な職場環境因子を軸に、個人因子と、自分以外の他者による支援因子が上手く噛み合うことの重要性が示唆された。(図2, 表3) (自抄)

昼寝椅子における短時間仮眠が睡眠の質、パフォーマンス、眠気に及ぼす影響

小山秀紀, 鈴木一弥, 茂木伸之, 斉藤 進, 酒井一博

本研究では昼寝を想定した椅子での短時間仮眠が睡眠の質、パフォーマンス、眠気に及ぼす影響を調べた。仮眠は昼食後の20分間とし、ベッドでの仮眠を比較対照とした。測定項目は睡眠ポリグラフ、パフォーマンス（選択反応課題、論理課題）、精神的作業負担とした。分析対象は夜間睡眠統制に成功した6名（20.8 ± 1.6歳）であった。ベッド条件に比べ、椅子条件では中途覚醒数が有意に多く（ $p < 0.05$ ）、徐波睡眠が少ない傾向にあった。両条件で仮眠後に眠気スコアは有意に低下した（ $p < 0.001$ ）。パフォーマンスは条件間で有意差はなかった。昼寝椅子における短時間仮眠は睡眠が深くなりやすく、ベッドとほぼ同様の眠気の軽減効果が得られることが示された。(図5, 表8) (自抄)

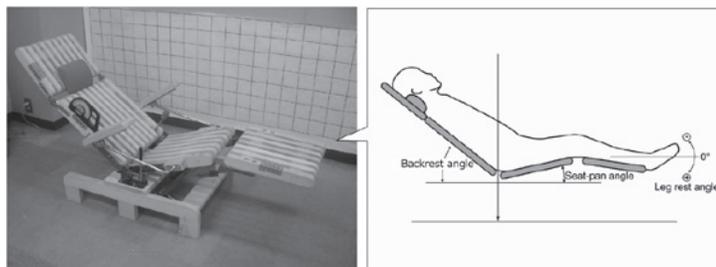


図1 実験椅子と角度の定義

Fig.1 Experimental chair and definition of each angle

看現場作業者のGHS絵表示の理解度と文字情報の確認行動

高橋明子, 島田行恭, 佐藤嘉彦

化学物質を取り扱う職場で働く現場作業者を対象に、GHS絵表示の示す危険有害性の理解度と文字情報の確認を促進する要因を検討した。シンボルが単純で危険有害性の性質を表す絵表示は理解度が高かったが、全体的に理解度は非常に低く、他の絵表示と混同されるものや一般的なイメージと一致せず理解度の低いものも見られた。また、文字情報の確認行動には絵表示に関する知識や学習経験、絵表示の付いた化学物質に対するリスク認知、絵表示の示す危険有害性の想像しやすさが関連した。文字情報の確認行動を高めるには、教育訓練においてGHS絵表示が一定の危険有害性を示すことを強調し、リスク認知を高めることが有効と考えられた。(図1, 表7) (自抄)

簡易型シミュレーターによる競争場面を用いた 若年運転者における攻撃行動の実験的研究

今井靖雄, 蓮花一己

本研究では、テレビゲームを用いて、運転場面における感

情と生理反応の攻撃行動への影響を検証した。実験参加者は、16名の若年群と15名の中年群であった。実験参加者は、カーレースゲームをプレイし、普段の運転やゲームに関する質問紙に回答した。ゲーム中の攻撃行動とゲーム中の生理指標が測定された。重回帰分析を行った結果、若年群の攻撃行動は、主観的欲求不満感情と複数の生理反応が有意になったものの、中年群の攻撃行動は欲求不満感情も生理反応も影響を及ぼしていなかった。(図2, 表7)

(自抄)

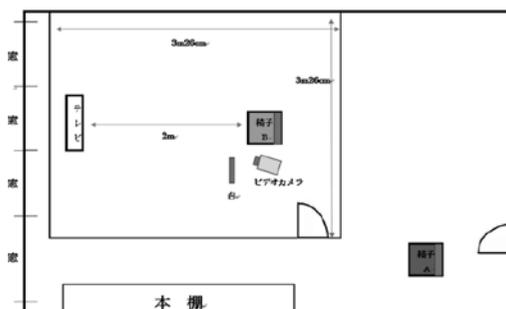


図1 応用心理学実験室

Figure 1 Applied Psychology Laboratory

高齢者介護施設における介護職の離職要因の実態： Healthy Work Organization の概念モデルを用いた質的研究

富永真己，中西三春

Healthy Work Organization (HWO) の概念モデルを踏まえ、介護老人福祉施設の介護職の離職要因の実態解明を目的に、施設のユニットリーダー計14名への半構造化面接による質的研究を実施した。逐語録から離職に関わる記述をコードとして抽出し質的帰納的に分析した。抽出された62コード23サブカテゴリーから成る3カテゴリーのうち、[介護業務の特殊性]はHWOモデルの「作業・職業特性」、[労務・人事管理の未確立]と[組織の方針と体制の未整備]は「組織特性」に該当していた。介護人材の離職対策において、作業・職業特性と背景にある組織特性の実態が明らかとなり、その取り組みの必要性が示唆された。(図2、表2) (自抄)

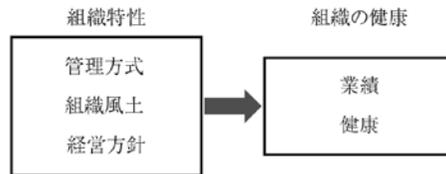


図1 Healthy Work Organization (HWO) の概念モデル8)

Fig. 1 Conceptual model of the Healthy Work Organization (HWO);

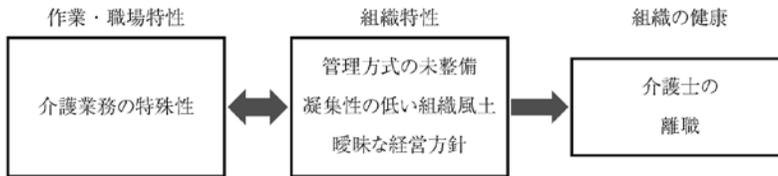


図2 本研究の結果に基づく概念図

Fig. 2 A conceptual diagram based on the results of this study

「児科雑誌」に発表された仮称所謂脳膜炎（鉛毒性脳症）に関する研究の足跡（14） 1936年から第二次世界大戦終期1944年まで（第1報）

堀口俊一，寺本敬子，西尾久英，林 千代
労働科学，95（5・6），142～149，（2020）

1936年から1944年にかけて、「児科雑誌」（Acta Paediatrica Japonica）428号～437号までと、ここから巻号制に変更され、続く43巻1号～49巻2号までに発表された乳児鉛脳症の研究について検討した。今回は17編の論文を取り上げ、これらの論文は内容に基づいて分類し、総説2編、統計4編、症例11編、計17編について考察した。

東大寺大仏の金メッキに伴う水銀中毒の可能性 （リスクアセスメント手法による検討）

金原清之
労働科学，95（5・6），150～162，（2020）

奈良・東大寺の廬舎那仏像（いわゆる奈良・大仏）は、鑄了後、5か年を要して金メッキが施された。このメッキ法は、金アマルガムを鑄造像の表面に塗り、これを加熱して水銀を蒸発させ、表面に金を残す「アマルガム法」であった。

このとき蒸発させた水銀蒸気により、多数の職人が水銀中毒に罹患したと言われている。しかしながら、中毒が発生したとする根拠は明らかにされていない。

そこで、本報では、金メッキ作業従事者の水銀中毒発生の可能性をリスクアセスメントにおけるリスク評価の方法を用いて検討した。

その結果、作業は危険な状況で、多数の作業者が中毒したと判断された。

日勤労働者男女2名における日常飲酒が睡眠に及ぼす影響

豊田彩織，木暮貴政
労働科学，95（5・6），163～170，（2020）

研究内容を説明し同意を得た2名の自宅にシート型体振動計を設置して、それぞれ43夜、37夜の睡眠を客観的に測定し、総就床時間、睡眠時間、就床・起床時刻を含む8項目の睡眠変数と、活動量、呼吸数、心拍数を評価に用いた。自記式の記録から就床時の血中アルコール濃度推定値を算出し、各評価項目について、飲酒有無条件間の差と就床時の血中アルコール濃度推定値との相関を統計学的に検討した。2名に共通して呼吸数と心拍数の終夜平均値が飲酒により上昇し、就床時刻の後退と終夜の中途覚醒時間の増加が各々に認められた。無統制環境下においても数十夜の測定により、飲酒が睡眠に及ぼす影響を評価できることが示唆された。

電動ベッドによる入眠後の自動背下げが睡眠に及ぼす影響

椎野俊秀, 木暮貴政, 土屋みなみ, 大場拓己, 横山道央
労働科学, 96 (1・2), 1~8, (2020)

20~26歳の計12名(男性6名, 女性6名)を対象に, 自動背下げ条件と水平条件での睡眠状態を主観評価およびシート型体振動計(SBV: 眠りSCAN®)により比較した。前者条件では, 上半身(ベッドの背角度)を10度起こして就寝し, SBVが20分連続で睡眠を測定した後に間欠的な背下げ動作を水平になるまで行った。評価は対象者感で評価順序のカウンターバランスを取り2日間連続で行った。睡眠感およびSBVによる客観的睡眠評価, 起床時の肩と腰の具合, 睡眠中の姿勢と寝返り回数および寝返りのしやすさ, ベッドの動作感覚により評価したが, 有意差が認められた項目はなく, 本研究で行った背下げ動作の睡眠に及ぼす影響はほとんどなかったことが示唆された。

Table 1 Points of OSA sleep inventory MA version and sleep onset estimation

表1 OSA_MAの各因子別得点と入眠感評価尺度の得点

	自動背下げ条件	水平条件	P値
夢み [†]	28.2±3.2	21.8±9.3	0.059
疲労回復 [†]	20.1±7.2	22.7±7.4	0.092
起床時眠気	23.7±5.0	21.3±6.8	0.137
入眠と睡眠維持	16.5±8.6	15.1±9.2	0.663
睡眠時間	15.4±9.8	15.9±9.0	0.828
入眠感評価尺度	17.2±7.2	17.5±8.9	0.922

n=12, 平均±標準偏差, [†]p<0.10
得点が高いほど良い評価

Table 2 Sleep variables measured by SBV

表2 SBVによる睡眠指標

	自動背下げ条件	水平条件	P値
総就床時間 [分]	416.7±15.0	415.9±14.7	0.684
睡眠時間 [分]	389.4±26.4	394.4±15.7	0.428
睡眠潜時 [分]	10.8±3.4	9.8±1.9	0.359
睡眠効率 [%]	93.5±5.6	94.8±2.8	0.313
中途覚醒 [分]	13.8±24.1	9.5±12.0	0.405
離床回数 [回]	0.3±0.5	0.3±0.5	0.586
呼吸イベント指数 [回/時間]	6.1±2.4	6.3±2.6	0.785
活動量 [count/分]	25.1±10.2	21.3±8.8	0.155
呼吸数 [回/分]	15.8±1.8	15.7±1.7	0.686
心拍数 [回/分]	59.3±5.7	59.6±4.7	0.829

n=12, 平均±標準偏差

最新刊

THE JOURNAL OF SCIENCE OF LABOUR

労働科学®

B5判 年6回刊 96巻1・2号 定価(本体1,454円+税) 年間購読料9,000円(税込, 送料不要)

次号（6月号：76巻6号）予定

特集

働く女性にエールを送ろう

女性困窮者への支援…………… 寺園通江
世界で出会った参加型改善に取り組む女性たちの肖像…………… 長須美和子
働きづらさを乗り越えて…………… 平山知子

巻頭言＜俯瞰＞創立100年—これからの労研の役割とあり方⑥…………… 角田信之
労研アーカイブを読む・68 PCBによる曝露事例…………… 椎名和仁
労研アーカイブを読む・69…………… 岸田孝弥
凡夫の安全衛生記・53「至らなさに気付く」安全衛生巡視について思う…………… 福成雄三
漂流者たち—クミジヨの肖像・4…………… 本田一成
大原孫三郎と清水安三・4…………… 兼田麗子
ILOインド・南アジアこぼれ話・3…………… 川上 剛
「#教師のバトン」で伝わる 教職員の過酷な勤務環境・3…………… 藤川伸治
チャレンジ！SDGs・2…………… 泉 貴嗣
休憩時間を法制化しよう…………… 寺内宏伸
芸能従事者は、今…………… 森崎めぐみ
口絵 [見る活動] 広がる参加型職場環境改善・6…………… 仲尾豊樹

[編集雑記]

○「博物館」という言葉は、中国の古語で「広くモノが集まる館」を意味します。たくさんのモノに出会うという意味で今回の特集タイトルを「産業博物館を訪ねて」としました。ただ、その数たるや膨大なので一つでも多く紹介するために今後もシリーズ化していきたいと思っています。今回取材させて頂いたみなさまには大変お世話になりました。ありがとうございました。

○大牟田より熱のこもった一文を寄稿頂いたことに感謝します。「石炭から石油へ」というエネルギー革命は果たして人類に本当の幸せをもたらしたのかどうか、今一度立ち止まって考えてみたくなりました。

○本年の1月号以降、毎月新しい連載企画が誌面を飾ってくれています。SDGsの問題はこれまで真っ向から取り上げたことはなかったので、大いに期待してください。本誌には珍しい可愛いイラストもお楽しみください。

○編集子の周囲でも最近の話題は「もうワクチン打った？」です。長い闘いから逃げない私たちを後世の人はどのように評価してくれるのか、ちょっとわくわくします。日々ご無事で！ (N)

[購読のご案内]

○本誌購読ご希望の方は
直接下記あてにご予約くださるのが便利です。

購読料 1ヵ年 13,000円(税込, 送料労研負担)

振替 00100-8-131861

発行所 大原記念労働科学研究所

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-1-12

桜美林大学内3F

TEL. 03-6447-1330(代)

03-6447-1435

FAX. 03-6447-1436

労研ホームページ <http://www.isl.or.jp/>

労働の科学 ©

第76巻 第5号 (5月号)

定価 1,200円 本体1,091円

(乱丁、落丁はお取り替えいたします。)

着ごこちに
不満

つつぱり、
動きにくい

環境負荷が
大きい

ユニフォーム問題の
解決へのカギ。

ポリエステルなのに環境にやさしい

BioNature[®]

クラボウ バイオネイチャー

土に還すことのできるポリエステル「デュポン™」の環境配慮型分解繊維を使用し、コットンやウールと組み合わせたソフトな肌触りの環境配慮型素材です。

防災なのに快適な着ごこち

BREVANO[®]

クラボウ プレバノ

コットンに自己消火機能を持つ合成繊維を混紡することで、コットンの持つ心地よい肌触りと、防災機能を備えた素材です。

ハードな動きにもジャストフィット

ONE BY TEN[®]

クラボウ ワンバイテン

優れた伸縮性と回復力を持つオペロンテックス社「T-400」と綿や綿／ポリエステル混紡糸を使用したストレッチ素材です。弾力のあるしなやかさと天然素材の穏やかな肌触り、心地よい着用感を実現しました。

防塵マスクの集中管理に適した引出しトレイ付きの防塵保護具保管庫シリーズ

- ・タイマーによる24時間周期(15分間隔)のON・OFF設定が可能です。※1
- ・材質ごとにリサイクルまたは廃棄時に分別しやすい配慮をした製品です。

※1、必要に応じて50/60Hzの切り替えが必要です。



■ BM-120KC-T8
H1360×W458×D410

KC TYPE

- ・ファンモーター
- ・24hタイマー
- ・除湿機能
- ・殺菌灯付



■ BM-60KC-T8
H950×W458×D410



■ BM-120C-T8
H1360×W458×D380

C TYPE

- ・ファンモーター
- ・24hタイマー
- ・殺菌灯付



■ BM-60C-T8
H950×W458×D380

防災・救護用品保管庫



防災用品保管庫
■ 36105
H1124×W450×D350



避難用品保管庫 (H880タイプ)
■ 36116
H880×W880×D380



避難用品保管庫 (H1790タイプ)
■ 36117
H1790×W880×D380

小物入れロッカー



■ CX5-8 (40口用)
H1600×W900×D300



■ CX4-8 (32口用)
H1600×W727.2×D300



■ CX3-8 (24口用)
H1600×W554.4×D300



■ CY4-4 (16口用)
H700×W1000×D360



HPはQRコードから

